京城日報

三十日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

本紙定價 一ヶ月金六十五錢 ……
廣告料金 ……
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社

○聯合國陸軍側抗議
露國の單獨休戰に對し

既電の如く露都駐在聯合國側各大使館は露國政府の單獨休戰に對し強硬なる抗議を提出せるが之れと同時に聯合國側陸軍使節は二十三日露軍總司令官に抗議書を送り我等は現に露國が條約に背き休戰行動を執るに抗議す若し之を敢行する如き無く條約に違反する時は恐る可き結果を生ずる事あるべきを警告すと云へり(露都電報)

○高加索政府設置

高加索は別個の政府を設置し三十九名の社會黨より成る議會成立せり內一名は過激派なり(倫敦電報)

○過激政府信認可決

二十五日夜露都守備隊代表者の會合開かれたるが各自其所屬政黨の意見を發表して投票に入り遂に三對六十一票の多數を以て過激派政府信認案を決議せり(倫敦電報)

○守備隊過激派に加擔

守備隊は過激派に加擔し過激派は關稅を押收せり西部戰線司令官ボルエフ將軍は休戰の交涉を爲す事を拒絕せる爲め更迭されたり(露都特報)

○憲法制定議會議員選擧

憲法制定議會議員選擧は廿八日終了せり投票者多數なりき(露都電報)

○英政府對露警告

英國外務次官セシル卿は露國に對して演說して曰く『政府は一の陳述を發表したるが幷は露國に於て單獨講和を締結するか又は目下の如き混亂狀態繼續さるゝに於ては由々敷結果を生ず可しとなし露國民を警醒す可し』と述べたり(倫敦電報)

○王氏就任快諾

王士珍氏は國務總理として後繼內閣の組織を快諾し陸軍總長を兼任する事となれり(北京特電)

○米國金銀輸出高

本年度米國より輸出せる金銀は三億四千八百九十六萬弗に達せるが內日本に輸出されたるものは一億五千五百四十六萬弗西班牙に輸出されたるもの九千九百三十三萬弗にて銀輸出高は六千二百二十三萬弗なり(華盛頓電報)

○郵船株主總會

日本郵船會社定時株主總會は二十九日午後三時神田青年會館にて開會年五割の配當案を可決し新重役に湯河元臣、柳生一義、永田仁助の三氏當選したり(東京特電)

○支那記者團上京

支那記者團一行は三十日夜東上す可し(大阪特電)

○軍司令官入洛

松川朝鮮駐劄軍司令官は二十九日夜入洛せり(京都電報)

金券讓渡と正金
井上正金頭取の說明

今回政府に於て經濟上の滿鮮統一を定められたる結果從來滿洲に於て本行が發行せる金券は十一月卅日限り朝鮮銀行に讓り渡す事となり而して本行の金券發行權は大正二年七月より大正七年七月迄滿五年間の期限を以て政府より許せられ現在發行高合計四百五十萬圓の多額に上るも更に政府の方針決定せし以上は直ちに鮮銀に讓渡すべき都合なりとなし今次急遽讓渡を決行せし次第にして既發行券全部は十二月一日以降鮮銀に於て引換ふる事となせり然れば在來日本銀行より本行に委託せられし滿洲に於ける金庫事務も亦朝鮮銀行に委託する事となり十二月末日を以て正金銀行より朝鮮銀行に引繼ぐ筈なるが是等の事務に就ては正金、鮮銀兩者の間に極めて圓滑なる解決を見たり尙ほ右の如く改正の結果として從來主として關東都督府の爲に店舖を有せし鐵嶺、安東縣、遼陽、旅順、四平街の四出張所は不要となりしを以て十二月末日限り閉鎖する事となれり次で本行は在來支那全區域に對して銀券を發行し滿洲のみに金券を發行し來れるが右の結果として今後は關東州に於ける本行の銀券は強制通用力を失ふ事となれり如上の如く今次の事柄たるや全く單に滿洲に制限せられし事にして在來の支那に於ける本行金庫事務には何等の變更なく依然支那全般に對し銀券を發行し滿洲に於ける商業中心地たる大連、營口、奉天、開原、長春、公主嶺、哈爾賓の七ケ所には相變らず店舖を有し一層滿洲の爲めに努力を爲す決心なり尙ほ試みに在來滿洲に於て本行が發行し來れる額を擧ぐれば最多の時に於ても二百萬圓を下りし事あらず(東京)

○浦鹽貨物前途
軍需品輸送減少

本邦米國間の海運は米鐵輸出禁止以來往航の貨物著しく減少を來し所謂外船トラムプスチーマーの如きは往航貨物は多大なれども復航の都合付かず爲めに航海に著しき支障を來しつゝある有樣なるが社船中郵船會社船の如きは紐育コンフエレンスに加入して歐米よりの露國向き軍需品を稼取りし爲め船腹の調節上極めて便宜を得殊に近時英米の船舶が主として政府に徵用せられ大西洋航路に使用せらるゝこととなりし關係上コンフエレンスに加入せる外國船舶の浦鹽航路に就航するもの漸減を

○米穀輸出檢查狀況(一)
總督府技師 綾田豊氏談

本年十一月一日即ち改正穀物檢查規則施行後の狀況視察の爲め咸鏡南北、江原、全羅四道を除き、他の各道を巡視したる綾田技師の談に曰く

朝鮮に於ける米穀の檢查は大正四年總督府令を以て發布されたる米穀檢查規則に基準して、各道に道令を出さしめ、之に依りて檢查を施行せしめつゝありしが、道直接に之を行ふもあり、組合をして之を行はしむるもあり、隨て遺憾の點尠からざりしを以て其統一の必要を認め、本年總督府令を以て檢查規則を出し、之に準據して各道直接に檢查を行ふこととし十月一日より實施されたるが、從來檢查を施行しつゝある諸道も嚴格等しからざるものあるのみならず、黃海道、平安北道の如き今回新たに實施することゝ成りたる地方もあり、旁々劃一的に檢查を勵行せんは、頗る困難なる事情あるべく思惟せられたるを以て、予は是等が實地の

▲狀況視察の爲め出張したり、而して視察の要點は、第一に米穀檢查が、總督府の方針に適當に施行されつゝあるや否や、第二に新令に依る、檢查施行の爲め幾分其標準の程度を高め、多くの不合格品を出し地方產米の輸出に惡影響を及ぼす無きや否やにありしが、第一に就ては、地方に依りて多少の差は之れ無きにあらず、檢查員任用後日尙淺き土地の如きは、些末の點は改善を要するものあるを見たれど、大體に於ては成績良好なるを認めたり、第二は

▲新令實施の結果、不合格品定めて多かるべしとの豫想に反し、實際は其の存外に少きを知りて寔に欣ばしく思へり、是れ檢查員の指導宜しきを得、不合格品に對しては懇切なる注意を與へて再調せしめつゝあるが爲めにして再調の餘地無き不合格品は檢查に附したる總數量に對比し、多きも四分、少きは一分一厘に過ぎず。內地に於ても現に二分乃至四分の不合格品を出しつゝある狀態なれば朝鮮現行の檢查標準は決して嚴酷なるものにあらざるを確め得たり。

▲岐路に入るも茲に少しく申添へ置きたきは、檢查不合格品といふも、強ち品質の劣惡なるが爲めにあらずして主として乾燥不十分なるに因し、商品として之が輸出を爲す場合には貯藏困難なる種々の缺點を伴へども、鮮地に於て白米に精製するには別に差支へ無きを以て、頃來不合格品多くして各港灣に堆積せりなどの途說を耳にすれども、右は全然不實なるを斷言す

○鮮銀券六千萬圓を拔く
鮮滿の財界漸く繁忙期に入る

二十九日朝鮮銀行券の發行高は六千二十八萬六千圓に達し遂に六千萬圓臺を拔き尙ほ膨脹の步を辿らんとしつゝあり而して之れを昨年十二月中旬の最高發行額たる四千六百萬圓に比すれば實に既に一千四百萬圓の大增加を見居れるが其の理由は朝鮮及び滿洲共新穀の出廻愈々多く其の買出資金の需要頻繁に起り來れるためなるが何分米豆を初め輸移入品の銀行貸出評價は例年より數割方上位にあると並に一般財界の膨脹は銀行券の增發を誘致し居れり加ふるに十二月一日よりは既報の如く正金銀行の滿洲にて發行せる金券約五百萬圓の鮮銀券引換へを來し更に鮮滿の財界は大節季とて愈々多忙季に入るを以て鮮銀券は恐らく七千萬圓を拔くに至るべく朝鮮銀行にては內地金融市場の狀勢により或は證券準備による制限外發行を行ふに至るべしと

□東京より
獨帝と講和提議

○歐洲列國の事情に通せる者の間には今年中に獨帝は極て聯合國に有利なる如き條件を以て講和提議を試むべしと豫言するものあり最近露國瑞典諾威を歷訪して佛國に來れる米國合同通信社員シムス氏も此意見也其說に依れば獨軍のリガ攻略よりして露國が崩壞するに至るや

○此講和提議の前提たるべく獨帝は今次の戰爭の慘禍に傷心の餘り英米佛伊其他聯合各國の總ての條件を容れ獨軍が今日占領し居る地域より撤退するのみならず相當の償金を支拂ふをも辭せずと云ふにありて斯の如き提議は或は聯合國をして講和承諾に傾かしむるやも知れずと觀測さる而して假りに聯合國が此條件にて講和せんか平和克復後の獨逸の勢力は如何獨逸は現時の

○形勢よりして將來も奧地利勃牙利土耳其を全然屬國の地位に置き歐洲中部の大勢力を張り露國に於ては過去二十年間獨逸が扶植したる勢力が金錢を惡せずして露國の蒙運勢力の大傘下に聚まるべし獨逸は其世界各地に於ける獨領植民地を保留して其世界大帝國建設の理想は從來と異る所なかるべし斯の如き形勢に於て白耳義、塞爾維、黑山國が一時獨立國として其國土の返還を得るとするも是れ獨逸の鼻息を伺ふてのみ存立し得る狀態に陷るも今日の聯合國も亦

○中歐聯邦及び世界全般を壓する獨逸の勢力を奈何ともする能はず獨逸軍國主義の打破は全く望なきに至らん是れ獨帝が一見聯合國に有利なる如き講和提議をなす目的にして聯合國は今より用心に用心して獨逸の甘言に迷はせられざる用意を必要とするものなり(東京、錦者)

○秘密文書と講和
露前外相元駐露本野大使に告ぐ

露都に於て發表されたる秘密文書中獨逸が日本及び露國に單獨講和を勸めたる當時露國前外相サゾノフ氏は駐露日本大使本野男に告ぐるに露國は講和提議が露國、佛國、英國及び日本に對し同時に通告せられたる場合に於てのみ之に耳を藉す可しと云へりとあり(倫敦電報)

○獨公使の講和運動
秘密文書の一節=日露に對し

露都に於て發表せる外交秘密文書中ストックホルム駐劄獨逸大使が日本大使に對し露國と袂を連ねて聯合國側を脫退し單獨講和を爲さんことを勸誘せる事二回に及べる次第を露國前外相サゾノフ氏より英使及日本に報告せる電報あり(倫敦電報)

◎定例長官會議

三十日午前十時三十分より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監臨席各部長官、局長、官房長等參集各般の政務に就き協議を遂げたり

◎旅團司令部移轉

步兵第四十旅團司令部は既報の通りなるが同旅團司令部は愈々三十日午後一時二十三分大邱發列車にて出發金久保旅團長は御眞影を捧持し午後八時五十分龍山著入京す

◎第三大隊著田

既報の如く新たに大田に駐屯すべき步兵第八十聯隊第三大隊中第九第十第十一の三箇中隊長小田圭次少佐引率の下に二十九日午前十一時四十分著列車にて大田に到著せり停車場には大田の主なる官民、在鄕軍人分會員、新聞記者、小學校生徒、愛國婦人會員等多數の出迎へありたり

◎鴨綠江流氷

鴨綠江は昨今流氷甚だしく船舶の往來に非常なる困難を來しつゝ有り爲に船舶は既に大部分揚陸避難せりと

◎朝鮮古蹟講演

京城俱樂部に於ては三十日午後七時より入京中の京都大學助教授今西龍氏の朝鮮の古蹟に關する講演ある由

◎美術研究會例會

京城美術研究會例會は十二月二日午前九時より南米倉町京城俱樂部に於て開會今關天彭氏の講話ある可く講話の題目は『遠方より眺めたる支那』なりと

◎金融組合監督規程

大正[illegible]年九月一日より實施されたる地方金融組合監督規程は爾來の發展と業務の擴張及び事務の繁劇を圖る爲め今回之に改正を加へ十二月一日總督府令を以て發布さるべし

◎專用輕鐵規程

從來朝鮮に於ける專用輕便鐵道及び軌道は讓渡を爲すを得ざる規定なりしも企業者の便宜を圖り內地同樣の取扱ひを爲すことに改正さる

◎淸會線の使命
桑原咸北長官談

淸會間鐵道全線の工事完成を告げ十一月二十五日より開通せしは洵に予の欣懷に堪へざる所なり本線は大正三年十一月淸津會寧間の工を起してより年を閱すること三年其の間土地の辟遠に因る物資並に勞力の

▲供給不足に加ふるに曠古の時局及び大正四年に於ける稀有の大洪水等連續的又は突發的に豫期せざる幾多の大障害に遭遇したるにも拘らず當局並に當業者は日夜銳意努力に今日赫灼たる偉績を咸北の野に擧げられたるものにして眞に邦家の爲赤誠以て祝賀せざるを得ず惟ふに本線の使命たる專ら國際的にして啻に咸北の交通機關を以て任ずるものにあらざるは敢て喋々するを要せず然らざ

雖も本道亦

▲地方の開發之に依りて面目を一新するに至るべきや疑を容れざる所にして眞に本道開拓の權威なりと謂ふべし是を以て吾人は將來道民の一致協力に俟ち深く本線の利用に意を致し交通に將た產業に將又貿易商業の發展に向つて勇往邁進すべき重大なる責務を享受せるものと信す今や本線の成るを告ぐ併も本線の成るは眞に成れるにあらず本線の成るは其目的に向つては眞に其の一部たり其の擴張たる將來

▲肥培季に適し幹梢愈々高く枝葉愈々長きに達するの時本線の使命は初めて實現せらるゝ成容堂の發展に貢獻するの期も亦遙かに遠きにあらざるべく本線の前途亦多事なりと謂ふべし

◎鮮銀重役歸鮮
總裁及木村大田兩理事

東上中の鮮銀總裁美濃部俊吉同大連駐在理事大田三郎秘書役子爵曾禰安輔並に東京駐在理事木村雄次の諸氏は中央にて交涉並に處理を要する重要案件略一段落を告げしに付相前後して歸鮮の途に就く事となりしが大田理事は一日若くば二日出發四日頃入京すべく又美濃部總裁木村理事曾禰秘書役は四五日頃東京出發の事に決定久し振りにて重役の顏揃ひとなるべし

◎石塚總裁東上期

背部の腫物切開のため總督府醫院に入院中の石塚東拓總裁は經過良好にて三四日中に退院すべしとの事なるが其の東上は當初十二月十日頃の豫定なりしも多分十五日頃に延引すべしと

人事消息

▲保井子爵(總督府技師) 二十六日より全南外二道へ出張
▲峰田要氏(同上) 京畿道外六道へ出張中の處二十九日歸任
▲南市本丸氏(警部七) 二十七日夜歸京

露西亞
何故混亂するか?(五)

(ツアールが無くては治まらない露西亞さ、その宗教(一))

○この章を始めるに、吾人は次の挿話を以てするのを適當とする。それは、千九百五六年、ニコライ二世統治の頃、フォルムの農民が帝に謁見した話である。農民等が好にする所のあるカトリック僧侶達の流言――露西亞はもう正教を捨てた、皇帝もそれを見捨てられたといふ――流言を信ずる事が出來ないので、親しく皇帝に謁して、その眞僞を知りたいと希つた

○時は恰も、基督復活祭後の所謂光明週間であつた。この週間に於ける露西亞正教徒の慣例として、最初の挨拶としては『フリストス復活』と云ふ『實に復活』とこれに答へる。それが正教徒の挨拶である。フォルムの農民は、先づ時の內務大臣に面謁して、例の通り復活の祝詞を宣べたのであるが、內務大臣はこれに對して、たゞ平常の挨拶をのみでこれに答へた

○農民等は非常に落膽した。そして流言が或は眞實ではないかと云ふことを怖れ、深い杞憂に鎖されながら、皇帝の前に引かれた。其處で彼等は再び勇を鼓して、しかも非常に氣色ばんで『フリスト樣は御復活されました』と挨拶をしながら皇帝の答を待つた。その時帝は直に『實に復活』と答へられた許りでなく、正教の禮に慣ふ接吻を手に受けられた。

○フォルムの農民の歡喜はどんなであつたか、彼等は感泣の中に『正教は生きて居ます、正教の王よ、ツアールよ、正教の國民は生きてゐます』と叫びながら退出した。そして凱歌を擧げて地方に歸り、『ツアールは正教である、露西亞も正教である、フリストは露西亞に生きて居る』と觸れ廻つたといふ話である(あきら生)

時計貴金屬指輪眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 京城銀行前
三浦天龍堂
電話一〇〇一番 振替京城三〇番

平壤出張所開設
栗 藥栗
新倉里 池田商會平壤出張所
京城南大門前 電話七五九番
池田商會 振替二四七番

東洋一 流行の魁
內田式ストロング型
靴と鞄 旅行用
東京市芝區
內田靴鞄製造所

マッチ(燐寸は)
品質保證のねの安い
最經濟的「マッチ」は……
ハネシカに限る
京城 森久商店販賣
B.TAKIKAWA, HIOGO JAPAN.
京城本町 電話三五〇番
森久本店

冬物賣出し
舶下品被服類
勞店特製品類

和服類中古品
男女袷、羽織、袴、其他
和洋服商
金子奧市商店

天下一品
白鶴
增本酒店
仁川本町三丁目 電話一〇九番

清會線直線 第一列車内の賑ひ

氣温は桑原長官の豫想を裏切つた

全距離から豊山までの五哩を下ると茂山嶺を越し切つて終う、トンネルが數ケ所十近くもあるので、車中來賓の某々氏は「出つ入つ又出て入る茂山嶺」「ぬけて入つて又ぬけて入る茂山嶺」など、解釋の仕様では聯かに思はれる駄句も書た此前後より鐵道線路は會寧川の流域に沿つてゐる、榛の稚樹や稚松が簇ふやうに生れた左右の連山は段々開けて來て中島驛を過ぎる頃會寧平野が前面に展開する、茂山嶺を越ねても氣温は桑原長官の豫想を裏切り、存外暖かであつた。

此の前後車中の

(一時間に[illegible]なるため)

遠藤秘書官の右手の甲の爪の跡と陶山通譯官の巨大過ぎる帽子であつた、何故に秘書官の手の甲に二つも爪の跡が黒く殘つてゐるかは秘書官が口を噤むので分らない、そこに色々の想像説は出た、通譯官の帽子は一寸厚さの新聞紙を中にグルリと入れてゐるに拘はらず偖ほ頭と帽の縁に五分内外のスキがある「コレはどうしても新聞種だ」と傍はらの秘書官が記者等に披露した、しかし通譯官が何故にこんなに大きい帽を被つてゐるかは分らない、衆評は

陶山氏の逆上性

を緩和するため風通しをつけたのだらうと云ふにあつた、沿線の民家は軒も低く周圍に防風壁を

精巧な小額紙幣

小額紙幣五十錢と二十錢の二種が十萬圓數日前日本銀行より朝鮮銀行國庫課に廻送して來た、鮮銀ではドシ／＼拂出してゐるから精巧な小額紙幣は既に市中に少なからず其の流通を見てゐる偖ほ「今後何程送るかといふ事は別に通知も來てゐないが多分年内にまだ十萬圓や二十萬圓は來るだらう内地も矢張り足らぬらしいから多くを望む譯には行くまい」と鮮銀泉課長は話してゐた、偖ほ朝鮮銀行で拂出しつゝある小額仕拂手形は印刷の及ぶ限り出してゐる、コレで歳末の補助貨不足と云ふ事は免れるであらう

困つた監理人

山口縣玖珂郡[illegible]生れ[illegible]は取立てたる地代及び小作料二千[illegible]郎方[illegible]二十九圓餘の内を五百七十四圓餘三日朝家人の不在に乘じ奥座敷箪笥の抽斗より[illegible]主人[illegible]の[illegible]

會寧平野は廣い

のである、十二時を五分過ぎる頃、列車は會寧の左側を走る、遠い建物が飛ぶやうに消ゆる頃、定刻午後零時十分停車場に着いて下車、直ちに總務總監の一行は日支官民多數の出迎へを受けて貴賓室に入つて暫く休憩、地方官民の引見を行つた、それから北鮮國境空前の盛事と云ふべき清會線開通式は既に電報を發した通りの順序により停車場構内の倉庫に擧行、張延吉道尹が祝辭を[illegible]

ついた所、滿洲の支那人家屋に似てゐる、南鮮方面の家の建て方とは全く違ふ、併行せる清會國道に從來は支那駄馬を時々見かけた、此の支那駄馬は數千頭の多數あり、野に伏し山に寢ね、清津會寧間に於ける物資輸送機關としてトロと競爭し頗る重要な位置を占めてゐたけれど、鐵道全通後はトロが不用となるやうに駄馬も大部分[illegible]の運命をとる位に[illegible]つて行くであらう、[illegible]會寧の市街が見ゆる、市街が見えても仲々近くに來る、[illegible]

何れも國境方面

に影響を與ふる事が[illegible]である、[illegible]して會寧に於ける歳しは北鮮の國境に立つてゐると云ふ一種の思ひに充つるやうだ、[illegible]時間が短い爲め會寧市街を視察する餘裕はない、午後二時五十分清會線第一直通列車は開通式の祝賀に招待した數百の來賓を乘せて清津に引返す、歸途には鶴田陸軍省、[illegible]務局長、張道尹一行に加はつた(清津にて特派員)

間島を指呼の間

に望み得べき場所だけ

ドコとなく底冷えがする、停車場は間島連山嵐しの朔風を最初に受くる會寧市街と豆滿江の中間にある、此の驛舍を市街の入口に設けず對岸より望み得らるゝ場所に持つて行つたのは、そこに深い意味を認め得る、レールは江畔近くまで延びてゐる、驛を中心として豆滿江村には[illegible]の堆積があつた、一個二十錢と云ふ下級四ツ折位の大官山羽が數百個も積まれてゐたのを見た、有名な間島名産の[illegible]の俵が山を爲した、會寧炭の堆積も見た。

水虎を射止

釜南征虎軍枝隊の功名

山本征虎軍全南枝隊は北方本隊の活動に比して頗る不振の觀ありしが實際に於て全南[illegible]の一隊は近[illegible]孝一の一隊共に本月十五日以來[illegible]營苦を忍びつゝありしが近藤[illegible]は二十五日和順羅州長興三郡の[illegible]なる天臺山に虎の出沒し犬を[illegible]殺したりとの報告を得て直ちに[illegible]方面へ派遣し居たる分派隊を集中して天臺山へ向ひ廿五六二日[illegible]

もなく一頭とも風を切つて飛出し來りたれば近藤は直ちに稍逃げ遲れし一頭を追掛けたるに大いなる豹なれば彈丸を裝填する間も遲く近藤に飛びかゝりたれば近藤も一發放ちたるに豹は向き直りて度か虎豹を爲したる名手の事とて狙ひ定めず更に一發豹の

頭部を射貫

きたるに

極力搜査し

たるも虎を發見するに至らず遂に虎穴を搜し求めて突入して虎を獲んものと頂上に在る隱岩附近を極力搜索の結果遂に穴を發見したれば内部を窺ひ見に二頭の怪物眼光爛々と此方を凝視せるあり直に發砲したるに確かに手應へありと思ふ間

稀しい水虎

此の寫眞は全南[illegible]山中に於て山本征虎隊の南[illegible]隊が獲たる[illegible]めたる新鮮名[illegible]水虎[illegible]

ぞ左しもの豹も打斃れたりされど先に飛出したる一頭は附近に居たる勢子を望んで飛かゝり頭部其他に負傷せしめ遂に逃走し去りたる由にて豹は直ちに綾州に持歸り隊に保管し置き本隊に送る都合なるが該皮を拔き塩を詰めて光州憲兵隊に保存しは其形態普通の豹と異り非常に美麗にて俗に豹と云ふよりは朝鮮古來水虎と稱しつゝある稀らしきものにて約九尺四五寸に及び近年之を射止めたるものはなかりし

愈明日!!

活氣立つた商議選擧戰

京城商業會議所の評議員改選は愈々十二月一日午前九時から執行さることゝなつた長い間活氣立つて居た逐鹿界も終局の幕に近づいて運動も評間も此所一日で運命を決せらるる事となるのだ案外平靜に平靜を裝ひ

旗幟不鮮明

の裡に時間は刻々に推移して各候補者の當落を宣告する最後の一瞬に接近するのだ十二月一日は本町一丁目京城校組合會議場(元商業會議所)を投票場とし午前九時より午後一時迄を二級選擧人の投票時間とし午後二時より同四時迄を一級選擧人の

投票時間と

規定してある而して選擧すべき内地人、朝鮮人の評議員數は一級評議員内地人十二人朝鮮人三人二級評議員内地人十人朝鮮人五人、即ち一二級とも内鮮人十五名宛の評議員を選出すべきで選擧は選擧委員の手に依つて執行せらるゝ事となつて居るが試みに今日迄名乘りを揚げたる候補の顏觸れを見渡すと大部分は勿論現在評議員の面々で新顏としては

僅かに指を

屈するに過ぎない而かも形勢を達觀して事をする野心家が案外多いので選擧間際の昨今に至ると名乘りばかりで其後の消息を杳として絶つた候補もあるのみならず今だに態度不明の者もあり或は内地人二評議員では釘本藤次郎、原田金之祐、林田金次郎、高木德彌、佐野彦藏、篠崎半助、鐵島宇吉、唐川立造、藤田安之進、增田三穗、古城龜之助、谷口小次郎、小谷請、神田長兵衛、志岐信太郎の諸氏らしく此の内には尙ほ去否不明のものも少しはある模樣である、新顏議員として吉田勝次郎、村瀨鎌次郎、木本倉二、國太郎、横田瀧三郎、逸見辰馬、梶原末太、高島周祐、大賀龜吉、白上貞一の諸氏にして中には一時斷念説の傳へられた人もあるが結局評議員定數より一二級共に二三名宛は超過する立候補の顏觸らしい

謡曲師匠夫婦情死を遂ぐ

大阪府下中河内郡盾津村大字[illegible]太郎(四)は大正三年頃[illegible]本町三丁目に居住せし[illegible]に謡曲師匠をして[illegible]れるが本月八日午後[illegible]石洞八[illegible]に投身自殺を[illegible]見し直ちに[illegible]で現場に出張[illegible]兩人は[illegible]

女を冥土の道伴れに

新町遊廓の情死=毒藥を仰いで

三十日午前五時頃京城新町遊廓[illegible]門樓事福田[illegible]娼妓小笑の居室に於て服毒情死ありたり[illegible]岡山縣赤磐郡[illegible]城村[illegible]不定の廣安[illegible]夫(二十三)と[illegible]樓の抱娼妓小笑[illegible]の江戸[illegible]櫻井い[illegible]

馴染を重ね

居りしが間もなく兩名は豫て樓[illegible]納にて廿九日夜[illegible]が[illegible]行すると稱し共れとなく別[illegible]げて登樓遊興し翌三十日[illegible]意を決したる[illegible]夫が攜へ來れる

應急手當を

加へ一方所轄本町署より急報したる同署[illegible]の筋に急報したる[illegible]出張して兩名を檢視せり而して應急手當の結果兩人共意識は確かなるも重態にて取敢ず女は附近[illegible]病院に擔ぎ込み男は[illegible]

小笑の許に

通ひ詰め[illegible]にて馴染を重ね雇主なども[illegible]全てに入らず途に解雇されて郷里[illegible]り實母が來りて一先づ連れ歸りたることもある再度渡鮮し來りて[illegible]居れる内去る七月中白髮染用のナイスなど携へて登樓し其の時小笑の素振り危險なるより伸居等に[illegible]警戒中なりしが其の後樓主の注意に依り經夫は九月中小笑の手より手切金五十圓計りを渡され

悉く支拂ひ

あたもなしたるも代金は五囘登樓し合計四十六圓餘の遊興よう京城に歸來し其の後今月迄にれずして十一月二十一日再度靑島ここもなく僞も小笑の事が忘れら父の許に滯在せしも一向に面白き先づ手を切りて靑島に押し渡り叔

鋭利なる剃刀

を以て咽喉部深さ二寸餘を突き切り絶命したるが、男の右手には剃刀を握りたるまゝ附近に血潮の跡を認めざるより察すれば石造りの井筒に上りて先づ夫人の咽喉を切斷すると共に井中に突き落し續いて男も我が身を刺して飛び込みたるものらしく婦人の純金指輪一個を所持し他携帶品には金張り懷中時計及び其所持せる[illegible]印鑑を携帶せる所持金を[illegible]

初めて身元

判明[illegible]

神戸郵便局燒失す

技師竊盜嫌疑

石田氏洋畫展覽會

漁夫二名溺死

讀者文藝

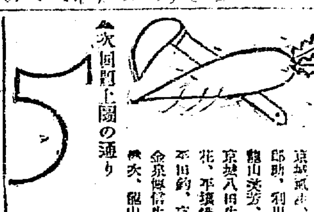
(一般[illegible])

○大根と鯨(一等)

京城 桑 [illegible]

△佳作

京城[illegible]、京城[illegible]郎助、羽川うらなり、龍山淡芳、大田川島花、京城八田生、沖里[illegible]平田釣、京城西野[illegible]金泉[illegible]、京城田[illegible]秋、龍山白頭翁



次囘問題の通り

●讀者文藝募集規定 ●記者募集締切 本社記者及校正

採用は締切りたり

課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事

商況

債券現物特電

公債直取引

深川正米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

正米小強し

錫眼先高構へ

期米出廻り潑々

十錢迄奔騰

前途昂騰の氣勢

亞鉛板更に低落

約十圓方の逆鞘

相場引弛み

五倍子持合

一段安値

不動の態

十錢安

下關相場

京城正米

清大門

仁川正米

仁川期米

三十日前場

兵庫二十三圓

東京七十七錢

當限受渡高

受渡の内容

新甫内氣配

其他代用新米格

上鞘五十錢

中限より二十錢下

鞘見當の唱

株は押目買

北濱たより

仁川取引所

市場雜觀

仁川繹著

釜山穀物

合格玄米十九圓

安人氣に沿線三等

猛烈に買建て

正米は最近の

十萬石を越なら

先限の鞘縮

米は僅々十錢位下

一圓五六期

天氣 晴れ時々曇り

[illegible]地代及び小作料取立事務に從事中[illegible]昨年四月頃より本年十月頃までの間に[illegible]松野米吉外百九十二名より[illegible]上の横領として公判に附せらる

●子守女の盜み　三重縣生[illegible]當府釜山富平町一丁目田中龜太[illegible]着物[illegible]半襟などを買求めしこと發覺[illegible]釜山署より檢事局へ送らる

●米代百餘圓　鳥取縣東伯郡[illegible]を横領して遊興消費して告訴され本町署にて取調べの上檢事局へ送らる

●連絡客船上陸　二十九日[illegible]二十九日午後釜山入港の壹岐丸[illegible]

●迷宮裡の哈爾賓

諸説紛々として信じ難し

目下哈爾賓の状況に關しては巷説區々にして否觀樂觀交々とし、殊に勞兵會及び彼の過激派の行動の如き露都の變化により猫眼の如く一轉しつゝあるが故に何れとも容易に判斷なし得ざるも最近に於て傳へらるゝ處によれば司法事件に關し二十五日より四日間一般各地に渉り大騒動起るべければ

▲國境護軍團長は　各般の兵士にして治安の爲哈爾賓に特派せらるゝ事を容認せりと稱せらるゝも哈爾賓佐藤總領事はさる事なしと打消居るとも傳へられ或は晝夜哈爾賓は强盜殺人の絶ゆる事なく邦人の引揚準備を外務省より内命せられたりと稱せらるゝかと思へば露西亞に於て巡査を増加し或は日支巡査の増置を承認せる結果は秩序回復せりとも傳へらるゝも

▲諸説紛々として　何れを信ずべきやに苦しむ處なるが本日哈爾賓より歸來せる[illegible]株式會社專務藤田與市氏の語る處によれば哈爾賓の無秩序なるは事實なるも一般新聞紙に傳へられつゝあるが如く危險に瀕しつゝありとも見られず、成る程白晝と雖も强賊の多きは事實にして又夜間と云はず晝間にても勞働者或は兵士の

▲泥醉して街路を　徘徊せるは屢な見受くる處なるもそれとて敢て矢鱈に亂暴を働くと云ふ事なく喧嘩などなし互に負傷なしたり時に殺人を演せらるゝは從來とてあり來りたる事にて只昨今其の數が増加したると露貨暴落の結果生活難を訴へたる爲竊盜の多きを加へたるとが著しき現象なり、殊に露官憲は十分治安維持の心算なりと稱し居れりとか、目下同地は邦人の手によりて輸入せられたる物貨は非常なる停滯をなし居れり、其は現地向

▲輸送不可能なる　と一方露亞銀行の貸出停止とによれば取引行はれず、故に多量の滯貨を見るに至りたり[illegible]貸出停止は獨り露亞銀行而已ならず我が正金及び朝鮮銀行とも貸出は勿論爲替迄も引受ざる始末なるより同地の邦商は金融の途なく爲めに非常なる困難に陷り居れり（二十六日長春）

◆京の文展

栖鳳畫伯の談

文展は更に二十七日より京都に開設して人氣を呼びたれるが其の諸作品につき竹内栖鳳畫伯の感想批評左の如し

▲清方の黒髮　の女は多年同氏の經驗した事が土臺となつて非常に油の乘つた作である人は情で生きて居るものだといふ事がよく語られてある其れが非常に美しく出來上つて居る、然し難は構圖の大マカな處だ、例へば黒髮を流れに浸して洗つてゐる人物を岸邊との關係がよくあらはして髮が洗へるものだと思はれるやうな點に合點の行かぬ氣がする、清方の黒髮が人間の情を語つてゐるのと相對して如何にも人間の氣を現はして居るといふ感じのするのは

▲百穂の豫讓　である、此の構圖は金石索から來たもので其の感じを基として極めて單純に聊か囚はれる處なく生かした點が此の作品の値打でもり妙味であつて如何にも人間の氣だといふ感じをよく現はしてゐる即ち仇討の氣合とでもいふ樣なものがよく出てゐる

▲九浦の妙見詣　は繪がかよわく思はれるが和臭に富んだ日本趣味のよく現はれた作である、彩色の間から兀たとして縹緲で山影を現はした所即ち名所圖繪を巧に咀嚼して取入れた所が研究的な所だと思ふ

▲景朔の日本　三景は昨年同氏の作竹生島に比し稍大味な心持もあるが[illegible]同氏が前年來研究しつゝある[illegible]の[illegible]島の[illegible]一幅に充實し[illegible]特に今年の作品のみに現はれ[illegible]ではないか[illegible]な進境を示すであらう

▲春僊の春衡　[illegible]研究の方面を進めて行くのは此の作者である書面一面に唯木を其の隙との關係を以て花鳥を現はしたものが支那繪狙ひで取入れた觀見から來唐繪の取扱つたものを巧に取合せてゐるといふ事は[illegible]何氏のすべき點だと思ふ併し遺憾は猶の研究的收獲で青年畫家として稱すべき點だと思ふ併し遺憾は猶の葉の隙間を生かす爲への足りなかつたといふ點で泥引なども[illegible]めに隙間の感じがよく現はれず[illegible]面の引立が惡く十分に面白味を缺く事が出來なかつた

▲翠嶂の短夜　は一見爽かな氣味のする作で妙見詣と相對して日本畫としての和臭の見はれた繪だが何一つ徹底する處迄仕上つて居ない未完成の氣がした

▲紫峰の梅雨霽　は構圖が奇肚で[illegible]の間の青梅が捻むくつて上に突出で、其處に山鳩一羽が止つてゐる邊は春僊の作と同じく唐繪狙ひだが竹のニーッと氣持のよい處が何ほ一つ現はれて居ない

▲闘雪の倪雲林　が支那風[illegible]の遺憾とする[illegible]ものを描くといふ事が十分によく[illegible]れなされ餘りにこなされ過ぎてゐるのは無造作にやつてのけられた物に比し物足らぬ氣がする昨年の寒山拾得に比し除程輕く同一つ充實した[illegible]ない[illegible]

▲櫻谷契月華香　の三氏に就いては何も語らない事とするが華香氏が立派な大家でありながら牛然研究的態度で每年作品を出す事は眞に發明すべき點で他人の眞似の出來ない處だ氏の人格の立派な處でもらう

▲大雲の人物　の活動振が錦繪の最も低級な働き例へば手を振り上げてるとか飛付いて居る處とか[illegible]

●理想的の暖房装置は

如何にすれば好いか

時節柄室内の暖房装置に就ては大いに研究の必要がある、特に之を衛生上より見たる保温の方法に就ては最も必要である事を感ずる、之に就て飯塚齒科醫は自己の研究を發表したら防寒設備に關して再び仁川醫師會の席上に之を發表したことは一般に參考さ[illegible]に再び此の說を摘錄する[illegible]

▲室内の防寒　設備には種々あれど冬期に於て最も多く用ひらるゝものは火鉢、ストーブ、それから朝鮮では特有の温突がある、何ほ少數にスチーム及びガスストーブ（空氣温室法）等も用ひられて居るが之等の暖房装置には各一長一短[illegible]向來の時に當り防寒設備に就て[illegible]節柄無用の事であると考へる事は決して[illegible]ではない、殊に朝鮮は內地に比し寒氣一層激しきを以て之が防寒設備に就ては[illegible]研究せざれば[illegible]ならぬ

▲無煙燥炭　[illegible]は火鉢に[illegible]時[illegible]の一種で其の固定したるものであるが[illegible]之は布團に由つて[illegible]鉢の中に石炭の一種[illegible]用法宜しきを得ざれば有毒瓦斯の[illegible]を見たい、[illegible]其の比を見ない、但[illegible]安價にして使用に輕便[illegible]凡ての日本家庭に之を[illegible]くてはならぬものゝ一つ[illegible]

▲過度の乾燥　とは最も注意せざるべからずである、火鉢は日本人の暖房装置としては必要缺くべからざるものであるが[illegible]得ざれば甚だ非衛生的に陷り易い、殊に有毒瓦斯の發生を室内空氣の[illegible]短を免かれぬ且其の用法宜しきを得ざれば甚だ非衛生的に陷り易い、殊に有毒瓦斯を鼻口の邊に導く如き狀態に於て其の中に就眠する如きは甚だ有害である、次にストーブは如何、之は有煙突なるを以て其の煙突を充分長大にし且つ清掃を怠らざれば殆んど有害瓦斯の室内充滿を豫防し得る又火力が强くて充分なる温度を取り得るを長所とする、然し其之は强度の

▲室内乾燥　を來し適當なる[illegible]の温度は如何とも云ふに之は最も安價なる暖房裝置の[illegible]に非衛生的である、殊に朝鮮特有[illegible]の温突は[illegible]乾燥豫防法を講ぜざれば之が非常[illegible]

◆戰亂の敵國を横斷して

やうやう故國に歸つて來た

沈駐墺支那公使談

◆十一月廿六日奉天からいそいそと北京へ◆

奉天ヤマトホテルにて廿六日朝、洋裝の支那紳士及び令夫人其の他十九人の一行を共に京奉線から北京に向つた、一行は

◆駐墺支那公使　沈瑞麟氏の家族及び從者の人々であつて去る九月二十七日墺京ヴヰーンを出發しやうやうの事で二箇月振りにいつかしい故國に歸つたのであつた、公使沈氏は毛革の外套に中折帽の扮裝、夢頰美髯の紳士であつて令息や令嬢らしい洋裝の子供達は何れも本國の支那語を忘れて獨逸語を語つてゐた、公使は曰く、「ヴヰーン出發後の私共ば

▲獨逸から丁抹　のコーペンハーゲンに出でそれから瑞典のストックホルムを通過し更にボスニヤ灣を北まで廻つてトルネアからフヰンランドに入りました、フヰンランドでは食物に困つて停車場で食事しようとしましたが却々以つて一片のパンすらも得難い有樣、辛うじて黒パン二片で各自が二日間の飢を凌ぎました、次いで露西亞のペトログラードを經て露國の本國に差しかゝりますと途中われわれの列車は

▲一團の暴兵に　襲はれました、幸ひ兵士等は武器をコザックから奪りあげられた者達でしたがそれでもわれわれの列車に押掛けて來て即刻此の汽車を開け渡せと乘客はみな放り出せと怒鳴り出すといふ騷ぎです、私共は支那の公使だといふので幸ひ見逃して呉れましたが其の他の乘客は皆追ひ立てられて了いましたその上暴兵等は列車を走らせつゝ

▲各驛々で掠奪　を恣ままにして行きました、私共も實に酷い目に逢ひました、なに墺國の食糧品の、でですか、墺國本年の農作物は一般に昨年よりも增收で決して糧食の缺乏を訴へるやうな憂ひは無いと思ひます、それに國内の壯丁もまだ却々澤山居るやうです、獨逸では私共一行を

◆非常に優遇し　て呉れました……」と語つた、公使は今から七年以前支那がまだ大淸國を稱つた時代に墺國へ赴任し道回民國となつて始めて歸つたのであるといふ、驛には奉天の馬交涉使も見送つてゐた（奉天）

▲大連旅順の見學を了つた蒙古の喇嘛僧二十二名は二十六日奉天に歸つた、案内役の釋默笑師曰く「あちらでは非常の大歡迎をうけて喇嘛僧も一同大よろこびで居ります▲道中の成績があまり良かつたので來年は一度日本内地の見學に行かうかと寄り寄り評議中ですが何れ事實となつて現はれませう▲殊に一行の團長奉天黄寺の二喇嘛林沁呢嘛といふ人は大喇嘛の次ぎに位する人ですが大變よろこんで是非行きたいと申して居ります」と▲奉天の電話は其の後愈よ騰上り一擧六百圓を唱へるといふ、猶ほそれでも賣り手のないので製糖會社などは弱つて居ると▲邢德大街の中

●支那鑛業令改正

支那政府農商部は近回支那の鑛業條例を改正し各鑛山の保證金制度を改正して採掘及び採鑛規定を改正して其の準備金の積立を命じたるより從來僅に一千元内外の資本を以て採鑛に著手せし山師連の猥狽一方ならず然も支那鑛業家の大部分は皆斯かる薄資の山師のみなりしを以て是等は殆んど全滅の悲運に瀕し出資を日本方面に求めんとする者甚だ多し猶ほ昨今支那側の金融は頗る逼迫し不動産を擔保としての融通を日本側に求めんとする者亦非常に多きが如し

十日頃から寒くなつた愈よ本當の冬が襲來したのであらう[illegible]

日課暦（十二月）

◆一日　（日出）午前七時二十八分（日入）午後五時[illegible]
◆[illegible]　（日出）時間十二分（晝間）九時間四十八分（夜間）
◆[illegible]　（名中御供拂ひ）（新兵入營式）
◆[illegible]　納めの水天宮
◆[illegible]　午後十一時十四分（新[illegible]）
◆八日　午前[illegible]時四十分
◆[illegible]　吉例[illegible]（高野入寂）豫定[illegible]
◆十四日　（朔）●（午後十一月）午後六時十五分
◆十五日　（終の市）（義士祭）東京高輪泉岳寺にて
◆十七日　年賀郵便取扱ひ開始（三十日まで）
◆廿一日　午後三時七分（納めの大師）
◆廿二日　（御用納め[illegible]）
◆廿三日　（冬至）（天皇誕生）
◆廿四日　（宮中御煤拂ひ）（藥師納め）
◆廿五日　[illegible]
◆廿八日　滿月○午後[illegible]時五十二分（月蝕）皆既各地は午後六時三十八分一右偏下より[illegible]
◆廿九日　（御用納め）
◆卅日　[illegible]の時間がもう延びる[illegible]
◆卅一日　（大祓ひ）（終の市）（除夜）（日出）午前七時四十八分（日入）午後五時二十五分

京仁　平壤　釜山　[illegible]

（晝夜の時間）[illegible]

大正三年　專賣特許　[illegible]
（三十[illegible]）
本機械は各種事業に最も有利に[illegible]
進呈　[illegible]
東京[illegible]町一丁目[illegible]

職業　專賣特許品　美色取適　[illegible]
年中休業なし[illegible]
日收壹圓　[illegible]
特約店募集
大阪北區[illegible]
[illegible]一葉　本店

●裁縫生徒募集
裏千家茶道、池坊生花教授
京城旭町壹丁目七一
[illegible]　[illegible]良子

公告
大正六年（千九百拾七年）拾月廿參日横濱市山下町武拾參番地租山鐵株式會社支店ニ開カレタル臨時株主總會ニ於テ次ノ通リ決議候
ウエスト、ボルジア[illegible]州ノ法律ニ依リ成立セル法人タル租山鑛業株式會社ハ今般解散シテ事業ヲ廢止シ其法人設立免許狀ヲ同州廳ニ返付スルコト
右公告候也
大正六年（千九百拾七年）拾月廿四日
社長[illegible]
書記役[illegible]

▲廣告▼
[illegible]

防寒靴　製造販賣
並に毛皮なめし
（全國六拾五錢付上其他スリッパ）
地方の注文は代金引替にて發送
京城黄金町三丁目　大阪屋

東京市神田區五軒町一番地
鳥獸剝製用
義眼卸小賣　米山商店

[illegible]商店
[illegible]

品質第一
誠實第一
賣行第一
キッコーウ
最上醬油
醸造元　仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目電話二四五番

朝鮮總督府屬
普成法律商業學校講師　西村眞太郎著
最新刊
日鮮會話精通
袖珍總クロース美本　七百餘頁　定價金壹圓參拾錢
本書は高等程度の會話書にて現今行はるゝ會話中に發見する能はざる必須語を多數に掲載せり
本書は凡そ社會全般の事物を網羅し盡して收めたれば之を一つの國鮮語辭書として見る事を得べし
本書は内鮮人を問はず通譯事務に從事する人の最新最好の參考書なり
本書は各學校の會話教材に最適當の參考書たり
本書は各種講習會の良參考書たり
本書に揭げたる内鮮俚諺數百は皆新しき對譯法を用ゐあれば
一般に鮮語を解し得たりとする者も其の眞意を知りて實地に應用する事を得べし
ては甚だ覺束なきものならずや本書は貴重なる新譯語を以て充滿せり
茲に朝鮮語を今一層確實に研究せむとする人士あらば速に本書を購求して座右に備へられよ、朝鮮語の蘊奥は本書に依りてのみ窺ひ得るを得む
發行所　京城大平通一丁目　京城日報社代理部
振替京城三〇〇番
京城本町二丁目
振替京城二四五四番
特約店　大阪屋號　嚴松堂

越
十二月一日より三日まで三日間
よせぎれ
見切反物大賣出（三階にて）
京城　三越呉服店

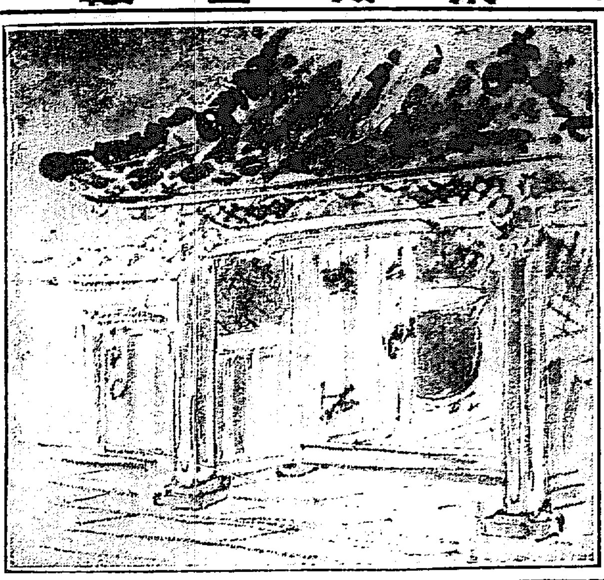
汽車 京釜線（南行）（北行） 京義線（南行）（北行） 同 仁川行 京元線（北行） 同 [illegible]

左甚五郎

第九十九席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

甚五郎は政右衛門を同道して廣徳寺の表門へ來て出來上つたを見ると最も立派でございます 政『何うだね甚五郎さん、俺が見た處では何うも低い樣だ。お前は何う思ふ 甚『左樣でございます。私が見るとでも低いと思ひますから定めし他人は低い／＼と云ひませう、が此の門の繪圖を引きましたのは私心得があつて低くしたのでありますから決して御心配なさるな 政『低くとも宜いのかね 甚『決して差支はございません。此處で結構 政『お前が宜いと云へばそれで俺も安心をした、それぢやア歸つて



一杯遣らう』と再び三軒町の家へ戻つて參り久しぶりで兩人が酒を酌交しました 政『時に甚五郎さん俺が若い時からの心願だ、お伊勢樣から大和巡り、讃岐の金比羅、安藝の宮島から熊本へ行つて、清正公樣へ參詣をして來やうと思つて居るのだが、何うも今まで家を明けて遊つて行く譯には叶がないから、永年思ひながら未だに果されね、處がお前といふ人が出來たので俺も大安心で何うか一ツ伜の處をお前へ賴む、俺は是から上方見物、お伊勢樣から出雲の大社、諸方をお詣りをして來るによつて何うか甚五郎さん不在中を賴む 甚『宜うござんす、決して家のことは心配なく悠然遊んでお出なさい、不在は確に預りました 政『お前が然う云つてくれゝば甚麽に俺は嬉しいか知れねえ、それぢやア何分賴む』と政右衛門は

翫事を甚五郎に賴んで上方へ發足いたしました、甚五郎は政右衛門の伜政吉を大事にして出入場其他のことにとんと差支はございません、然し廣徳寺の御門は低いものと見わて見る人々が低いといふ茲に上野東叡山寬永寺の一品親王輪王寺の宮樣が此のことを聞し召して態々廣徳寺前を御通行になつて御輿物の內より此の門を熟々御覧になつて寬永寺へお戻りになりましたが、役人を呼んで 宮『コリャ今日彼の廣徳寺の表門を見て參つたが、如何にも立派であるの 役『流石當時尚名の甚五郎と申す者が拵へましたので如何にも美事に出來ました、然し少々低いやうでございまする 宮『ウム、低いと申すか 役『皆見る人々が低いと申しまするさうでございまする 宮『あの門を見て低いと申して笑ふは心得違い、總て門は低いが宜い 役『何うも低いと見立がございません 宮『其方逹は門の低い所謂を知らんと見わるの 役『ハ、』宮『人皇五十代桓武天皇延暦十二年三月奈良の都を山城國葛野郡宇多村に地を相し給ひて大内裏を造らせ給ふ、東西一千五百八丈、南北一千七百七十三丈、中央に朱雀大路を通じ、其の角に羅城門を建て出來の山を跗し台して、此の門を御覧遊ばされ、此の門は一尺高き故切縮めよとの勅諚、係りの者は五寸縮めて此段を奏上に及びし所再び叡覧に相成りあゝ未だ高し一尺と申せしが一尺五寸縮めなば宜りしとの御諚なり係りの者は恐入り奉り實は一尺切詰べきを五寸切詰め僞りを申上げて恐入り奉る、此の上は速に今五寸切縮めまするを奏上に及びし時、イヤ／＼折角出來いたせしもの故是にて宜い、然し未だ五寸高い、恐くは風雨劇しき時に此の門は倒れるであらうと宣ひしが、果せるかな此後風雨劇しき時に此の羅城門は倒れたとある、其の御先見には人々驚きしとぞふことなり、其故に門は成るべく低きを宜しといたす、甚五郎と申す者は名人故其の心得を以て低くいたしたるものと見ゆ』と仰せられました

書画用 絖画絹
京染呉服商 たまや出張店 京城永樂町二 電話一九六番

外科一般皮膚科 泌尿器科花柳病科
院長 安部彰三
京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

曆 十二月二日 九星
舊十月十八日 丙寅
木 命 六白 乾 平 先負
[illegible]

演藝案內

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
喜仙會一行 十一日目藝題（十一月三十日）
△喜劇 だんだら染 全二場
○悲劇 つゝ井筒 全三場
△喜劇 命の安賣 全三場
幕合 浪花節出演

大正館 櫻井町 電話八七三
△十一月三十日より新寫眞提供
○米國ユニバーサル會社特作 [illegible]
○滑稽『[illegible]星』全二卷
△立花貞二郎一派出演
○新派大悲劇『結婚の夜』全四卷 [illegible]
△米國カレム會社 [illegible]
○泰西活劇『快青年』全四卷 [illegible]
△尾上松之助一座の大車輪義民の譽
○舊劇『血の池地獄』全四卷 [illegible]
○餘興『ジョンデー』氏大好評に付 [illegible]

黄金館 電話二三六七 二三六六
[illegible]
○舊劇『先代萩』（全六卷）[illegible]
○泰西探偵活劇『怪賊』（全三卷）[illegible]
○新派家庭劇『黄金白帯』全三卷 [illegible]

大好評に付引續き
ジョンデー出演
今回は演題は全部取換申候
人氣焦点の大正館

新派悲劇 立花貞次郎一派出演
結婚の夜 全四卷
長閑な村に歡喜の聲が充つる結婚の夜腥風慘として血の雨降らせしむ誰が罪か

米國カレム會社傑作
泰西活劇 快少年 全三卷
尾上松之助一派大車輪
舊劇 血の池地獄 全四卷
家老惡政のため妖雲濁り天日闇し然るに義民最後の快刀よく長蛇を斷つて光り普く

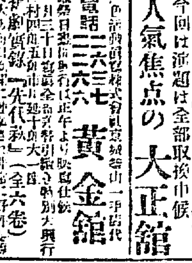
大餘興と大寫眞

壽館 京城本町 電話一〇五〇
⦿博多笑劇 松葉屋組一座
十二月六日午後六時より（初日）
▲一番 妙な親分 二場
▲二番 教育劇 訓當り 三場
▲三番 餘興 文人手踊 一場
▲四番 義侠の藝者 二場
▲入場料 特等五十錢、一等三十五錢、二等廿五錢、三等十五錢、軍人子供半額

有樂館 黄金町 電話（階上）五九七番（階下）二〇五番
日活 市川派 新派 常設館
[illegible]
○新派悲劇『二人村雨』（全三卷）[illegible]
○新派 續『獣魂』（四卷上場）[illegible]
○舊派 實說 德川天一坊（全四卷）[illegible]

易 周 明治町二丁目 介石堂 岡村介石

新荷著 懐中時計
[illegible]
懐中時計（▲印はラジーム入）
腕巻時計（▲印はラジーム付）
[illegible]
右は今回新に當店へ直輸入致候間御用命の程偏に奉願上候 [illegible]
時計、蓄音器、ミシン、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッソレー商會
本店京城本町二丁目 電話九七二番



朝鮮總代理店 本町四丁目 白神洋行
新田驚音
京城 南大門通 [illegible]
（定價表申込次第送呈）

贊化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
醫學博士 古城憲治
岡山醫學士 上野亮藏
内科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す

大口歡迎 質
田村質店
黄金町二丁目長橋町 電話一九一六番
商品擔保御利取扱

軍隊拂下品
赤茶 毛布 紺茶 ラシャ服
防寒襦袢、袴下、手袋
覆面、沓下、毛皮胴著
茶褐外被、紺絨外套
其他德川品各種
◎毛布百枚以上持に割引 御賃貸しも可仕候
京城北米倉町
メリヤス 貨卸商 村上商店 電話千百十二番

小學兒童歯牙健康診斷無料（毎日五名限り）
岡本歯科醫院
夜間診療 ◎晝間多忙の方々之爲（奇數日十時迄）
京城本町一丁目

彼方は美しい
と言はれるやうな方は御承知の美容液美顔ユーマー愛用の方々

銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醤油
代理店 京城明治町一丁目
醤油 酒 正宗 元賣 山邑京城支店
電話 八四九番 振替貯金京城七五番

内科 小兒科 呼吸器 胃腸病
外科 内臓。整形外科
肛門病、皮膚、梅毒淋、婦人科、わきが
京城本町五丁目（稻荷座前） 大和病院 電話二〇一三
入院隨意
學生軍人 勞働者 藥價輕減
院長 醫學士 齊藤勇
副院長 醫學士 小川清
副院長 醫師 齊藤豐次

醇良 清酒
發賣元 大塚合名會社京城支店
京城南大門通二丁目

内科 胃腸病科
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一三九二番

資本金參百萬圓
明治四十三年八月設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
株式會社 漢城銀行
京城府南大門通四丁目五番地
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 張弘植
電話 二六四六番 二三九番 振替京城二一八番 二六〇五番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地 鍾路、東幕

MITSUWA ACNE OINTMENT

Skin troubles as acne, papules, pustules, or sebaceous glands, which develope on the face, back, and chest, and are apt to become plugged up with the black specks, are successfully treated in most cases by the application of MITSUWA ACNE OINTMENT.

Price ￥ ,20

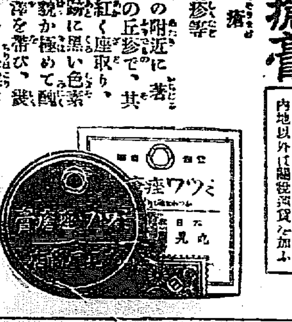
適應症候
粃瘡、皮脂漏、酒齇鼻、毛瘡
白疹、疥癬、粃糠疹、鱗屑疹等

みつわ・にきびのくすり
ミツワ痤瘡膏

妙齢の男女の顔面殊に額や顳顬又頬の附近に著しく出來、針頭から小豆位の大きさの丘疹で、其の尖頭に黄色い膿をもち其の周圍は紅く座取り、膿が出ると小さな痂皮が出來、其の跡に黒い色素が遺り、一つ治れば又一つ出來、容貌が極めて醜くする粃瘡。皮膚が膩ぎつて厭な光澤を帶び、塵埃が附いて汚らしい皮脂漏。最等の皮膚病にはミツワ痤瘡膏を塗るに限る。又粃瘡などを豫防し皮膚を整へて清潔にするには、日頃芳香健膚藥のミツワ雪の雫を用ひなければならぬ。

硝子器入 金貳拾錢
内地以外は關税運賃を加ふ
（現品縮寫圖）

發賣品目錄御申越次第送呈
ミツワ石鹼本舖 東京日本橋區橘町 丸見屋商店



MITSUWA FROST-BITE OINTMENT

An inflammatory affection of the skin, particularly of the fingers or toes, has irritating and troublesome itching. For frost-bite chilblain, chapping, or whatever complaints resulting from cold upon the skin, this remedy will effect the most efficient home treatment.

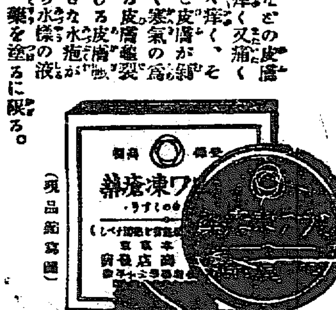
Price ￥ ,15

適應症候
凍傷、皮膚龜裂、皮膚皸裂、水蟲、其他痛痒を伴ふ皮膚病

みつわ・しもやけのくすり
ミツワ凍瘡藥

寒氣の爲に手足或は耳殼或は鼻尖などの皮膚に炎症を起し、皮膚が紅くなり、痒く又痛く夜間臥褥の中へ入つて温まると尚々痒く、それから水疱が出來、遂に擦き壞すと皮膚がさけて潰瘍をつくる凍瘡。次に同じく寒氣の爲に皮膚が乾いて、カサ／＼に荒れる皮膚龜裂。次にそれの一層進んで皮膚の裂ける皮膚皸裂。次に手掌や指間などに、小さな水疱が出來て幾く痒く、掻くと其の中から水樣の液が出る水蟲などには、ミツワ凍瘡藥を塗るに限る。

硝子器入 金十五錢
内地以外は關税運賃を加ふ
（現品縮寫圖）



MITSUWA YUKINO SHIZUKU
(Eau de neige)

Skin tonic, strengthening and beautifying the skin. Mitsuwa Yukino Shizuku (Eau de neige) is of supreme value in the care of the skin. It cleanses the pores, brings the blood to the surface, stimulates the small, muscular fibres and preserves the tender, delicate skin. If Mitsuwa Yukino Shizuku is applied every day, the skin will not be harmed by the sun and the complexion will be bettered.

Price ￥ ,20

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥

みつわ・ゆきのしづく
ミツワ雪の雫

主効
皮膚を强健滑潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚剝脱、皮膚龜裂、皮膚皸裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀卵斑、脂漏、粃瘡、毛瘡、濕疹、鱗屑疹、粃糠疹、苔癬、癜白に奏効す

本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、日常之を用ふれば、肌膚に居る黴菌を殺し其の發育を抑へ、隨つて腐敗を防ぎ、臭氣を消し、肌膚の硬くなつたのを溶かして
▲肌膚を柔軟に滑澤になし、肌膚を緊縮めて緻密になし即ち肌理を細かにし、
▲肌膚の血行を良くして其の色澤を麗しくし、皮脂や汗の過剩に出るのを制限し、肌膚を包み擁つて外から來る刺戟を禦け
▲肌膚の乾燥を治し、龜裂や凍傷などを防ぎ、黴菌や毒物の入込むのを止め、肌膚の榮養を旺盛にして、壯健な肌膚の新しく出來ることを促すから、顔に擧げてある諸種の皮膚病に良く効き、尚肌膚を强健く滑潔にして
▲肌膚を整へる藥劑故、肌膚を優良無刺戟のミツワ石鹼で洗つてから之を擦込むやうに塗り、暫くて湯水で絞つた手拭で抑へるやうに輕く拭取り、それから白粉を塗るとのりものびもよく、化粧崩れもせず、生々とした化粧が出來ます。

定價 金參拾錢
内地以外は關税運賃を加ふ
（現品縮寫圖）

京城日報
一日朝刊（朝夕刊併せて八頁）
本紙定價 [illegible]
發行所 京城日報社 [illegible]

京城日報

北滿洲及び東西伯利亞

露國擾亂政府顛覆以來、露西亞の領土を擧げて大混亂を極め、ペトログラード及びモスコーの如きも[illegible]混亂に陷りたるを以て、其遠[illegible]土の如きは推して知るべく、[illegible]に哈爾賓の如きは、所在外國人の生命財産の安固を保つの必要あるを爲して、列國領事相會し、[illegible]本及び英米兵を以て其警備を全くせしむべしと提議するに至れり。北滿洲の哈爾賓のみと云はむや、北滿洲及び東西伯利亞は到底日本及び關係列國の力に賴りて、其安寧秩序を保持するの外なきなり。

或は西伯利亞方面は、豫てより獨立の企畫あるを以て、露西亞本國の爲彼の如くなる以上は、早晩其豫定の辿り獨立自治體たるべしと云ふものあり、或ひは然らむか、併しながら西伯利亞各州なるもの果して本國に抵抗して、自治制を布くの能力ありや疑はしきのみならず、露西亞本土が修羅の街となるに從て、此方面は即ち亂民暴徒の淵叢となるべくして、且さへ防備警察の力を缺ぐところの各州は、其領域内の治安を保つ能はざるや論なく、萬一にも露西亞が獨逸の勢力の下に支配せらるゝが如きともならば、日本及び支那は其陸地續きに於て、敵と相接觸することゝなり、これに對して大なる警戒を爲さゞるべからずして、西伯利亞各州が獨立すると否との如きは、因より其の問ふに遑なき所なり。

且つ、西伯利亞が獨立するにせよ、將た假令獨立せずとも露國本土が無政府狀態なる爲めに、其の警察及び行政機關に歸するにせよ、露國本土と北滿洲とは、其連絡を失ひ、露國鐵道と、其勢力範圍とは事實上委棄せられたりと云はざるべからずして、日本及び關係國は當然其遺失物を保管するの務あるべし、獨り其義務あるのみならず、此方面に利害關係あり、且其國民の生命財産の保護すべきものある以上は、之に對して臨機適當の處置を爲すとは其の權利[illegible]るや言を俟たざるなり。

今日露西亞は全く無政府國なり、最近露都に蹶起するものは過激派なれども、國を思ふ野心家と亂民の[illegible]にして、何等の[illegible]統制[illegible]。[illegible]

[illegible]國家は、今方に此腹心の病に罹れ[illegible]。腹心に發するときは、途に自ら支ふる能はず、是れ早きに及びて之を救治せざるべからずと云ふ所以にして、關係列國の露西亞の爲めに作爲する所あるは、則ち是れ又其支體の腐潰を防止するに努むる所以なり。

支那漫遊

京漢鐵道(二)

蘇峯生

十月卅一日に、申す迄もなく、[illegible]の大長親征也、北京に於ても、[illegible]理想的の齋[illegible]和なりき。日支の諸君に謝を添うしたる、[illegible]しつゝ車に上る。特に謝す可きは、予等の爲めに京漢在中、始終一貫、[illegible]めに御斡旋を見られたる松村太郎君、[illegible]脇川文治君也。

氣晴れ日和かにして、申分なき小春の天、車窓中ぽかぽかとして、殆んど美麗を想ふばかり也。汽車は涿州を過ぐ、是れ劉玄德の故郷にして、今尚ほ樓桑村あり。予は俄かに作詩に耽りて、睡魔を驅除せり。

西山紫翠映金城。氷雪未臻霜菊清。正想江南秋色好。吟情若水出燕京。

金城とは紫禁城の事也。金臺の名あるを以て、斯く稱する也。

秋原渺渺旅愁間。盡日東南不見山。大耳王孫産何處。老楊如[illegible]樹間。

[illegible]ろに一詩あり。

北燕秋老客衾寒。南望中原千里寬。不用黃粱炊裡睡。[illegible]過邯鄲。

是れ實に實況也。予は鄴郡を夢中に過ぎたり。鄴郡尚ほ可也、されど漳河の大鐵橋をも同樣なりしは、聊か申譯なしと云ふ可し。沿道の停車場にて、湖南討伐軍の糧餉驢馬を見、其他の物資を運搬したる貨車に遭逢し、或は兵士の三々伍々往來するを見る。北京政府の多事、想ふ可し。

京漢鐵道(三)

十一月一日、日を離せば秋雨蕭々たり。汽車郾城驛に停車、地に著したるは午前六時四十分也、此地は昔の召陵邑也、[illegible]は南陽也、諸葛孔明躬耕の地也。此の附近より平原盡きて、阜陵となり、山陵となる。而して、竹林を見、松林を見、紅葉を見、細かに區分せられたる水田を見、地勢によりて重疊したる段々畑を見、白沙清流を見、山村水郭を見る、宛も是れ一幅故園の圖也。但だ竹林の深翠、煙雨に濕うて滴る色は、日本にある總ての竹林を擧げ來るも、恐らくは此に敵する能はざる可し。予は此の竹林に對して『萬竿如束翠沈沈』の詩意を、領會したり。但だ百穗畫伯と與に、之を賞する能はざりしを憾む。

平原糟遥到山根。秋雨蕭蕭紅葉繁。道入南陽看似畫。疎松密竹水雲村。

やがて汽車は揚子江の流域に入る。平遠の山水、秋雨孤蓬、小運[illegible]

[illegible]

誰 (138)

布施生譯

[illegible]

警察署で藏部は危險な囚人を入れる特別留置檻に打込まれてゐた。[illegible]るゝと藏部は無理に洋袴だけを穿かせられて腰から上は裸體のまゝ屈強な男三人に押へられながら、若が飮ませようとする藥を飮むまいと一生懸命もがいて居る『いやあ、御免だ、彼方へつれてつてくれ』『兄が藥を飮ませにくる』『もうこりや可かん』醫者は見棄てる外は無かつた『狂氣の中でも此奴は一番病症が惡いね、とても治療の道は無いよ、可哀そうに此男も仕舞[illegible]

[illegible]

一人は、一度に飛立つやうにして老人の傍に駈寄つた。老人は例の底知れぬ眼の力で『ふん二人とも私の秘密を[illegible]ませた』[illegible]を聞取りに來たのぢやな。成程、私はそう約束しました。可愛約束は反故にはしませんぞ。さあそれをやあお話するから二人ともよく聞きなさい。よいかな、私の友人に輕田と云ふ男がありましたがや。二年ばかり前までは世界世界一の果報者でな、或る女に惚込んで一身をそれに捧げたのぢや。いやさ、鹿な奴で女も自分とは相愛のつもりで自惚れてゐたのぢや』『あら相憐れだつたんですわ』美邦子が思はず喙を入れるのを老人は、ちらりと流眄にみながら『そうか、そんならまあそれにして置きなさい。兎に角なる嬢女は或る別の男と道行をしてしまつたのぢや。悲しさに狂ふた輕田は初は自殺しやうと思つた。しかし思返して矢張り此世に生延びた上、うんと復讐をする事[illegible]

[illegible]

一週間ばかり後、今は保部銀行の使用人から一躍重役の位地に扳擢された鈴富昌と[illegible]嬢との結婚式は壯麗と云ふ立派な來賓の前で市中初めてと謂ふ程盛大に催された。來賓の中で一番注意を惹いたのは之も探偵をやめて保部銀行の役員になつた綴井探偵の[illegible]老人と新夫人同伴で列席した事であつた。新夫人と云ふのは美邦子であつた。(完)

新年詞壇募集

漢詩 『海邊松』『戊午新年』(兩體、韻隨意)
短歌 『海邊松』(一人三首以下)
俳句 『騎初』(一人五句以內)

(注意) 締切十二月十五日、新年紙型京城日報社編輯局新年詞壇係に宛て投稿の事

[illegible]滿元年を經過すれば採液し得べき[illegible]既に植付後七八年を經過し得る[illegible]を以て發育不良の樹木と雖も最早[illegible]

[illegible]倫敦市場に輸送し取引せられたる[illegible]現今は同島の販賣市場に於て直[illegible]者共に[illegible]の點に就き非常に[illegible]

[illegible]米國は開戰以來斯業に[illegible]著なる發達を遂げ戰前にありても僅かに五個の染料會社が極めて少量の人造染料を産出したるに止まり且つ獨逸の低廉なる商品に壓迫[illegible]は此急を救はんが爲め蹶起し今や製造會社の數は百餘に上り其製品は多種多樣に亙り國内の需要を充せるのみならず更に輸出せらるゝの運びに至れり即ち開戰翌年度に[illegible]國に如何にして今日の地歩を維持す可きや之を既往に徵するに獨逸染料會社は相倚りて大合同を形[illegible]府は常業者の合同を獎勵補[illegible]も其剰品は國内に於ける需要[illegible]評價する事を禁ずるの法律を發布する[illegible]も効力ある可けれど更に必要なるは當業會社の合同を認可し經營上の歩調を一致せしむる事箚獨逸に於けるが如くならしむ可き也。

[illegible]下天津の貿易は[illegible]

生活

[illegible]經濟的生活法
心[illegible]肉の[illegible]
開[illegible]郎[illegible]權收入
[illegible]ーブル公債
鼻[illegible]と隆鼻術
千圓の投資
床屋の平さん
[illegible]引女の心理
[illegible]東京日本橋本町 博文館

最新英語講義錄
勉學の好機は來れり 先づ第一に英語を學べ
戰後は益々英語が必要!!
最近英語の必要は勝手道具に等しき現代生活の最大要具となれり、電燈電話が生活上缺くべからざるが如く大正の今日は英語の素要も又生活上是非々々缺くべからざる事實明なる諸君に向つては敢て多言を要せず、勉學の最好機を迎ふると共に本會の最新英語講義錄に來りて學ばれん事を望む、然して本會の講義錄は内容に於て設備に於て新歩の極度に達せる本邦唯一なるものたる事を斷言す
第廿四回の新學期開始會員大募集
會則進呈（詳細内容見本附）（端書にて申込あれ）
創立以來十年の久しき經驗により英語通信教授の極度に達す
大日本國民英語學會 東京麴町區富士見町六丁目

正則 獨逸語講義
東京[illegible]學校教授 谷口秀太郎
[illegible]學校講師 小笠原昌齊 兩先生編述
定價 一部金四十錢 郵稅四錢 全部[illegible]
見本 入用の方は郵券二錢[illegible]
[illegible]東京四三六六
本講義は[illegible]

新年號
學生
[illegible]
全國學校[illegible]
富山房

鑛業の智識を得んとする者は見よ!!
鑛業講習錄
新學期開講入學の絶好期目下入學者には特點あり
本校は[illegible]
大日本通信鑛山學校朝鮮支部

牧場の一大光榮
李王職牧場の乳牛全部（純粹エアシヤー種登錄牛）特命御拂下と牛乳御用との光榮を拜し[illegible]一層品質純良なる牛乳を廣く[illegible]飼育[illegible]大記念とし大切に[illegible]
京城[illegible]町四丁目（電話五二二番）
李王職御用 東亞牧場
場主 獸醫 肥塚正太

最新刊
[illegible]
大阪屋號書店

◆入京せる金久保旅團長（三十日夜南山驛にて）

休戰交渉承諾

露軍砲撃中止 全權委員會見せん

一日南國

露國特使は獨軍總司令官が休戰交渉開始を承諾せりとの公式回答を齎らして歸來せる旨クリレンコ氏に依りて發表されたりクリレンコ氏は露軍は戰線全部に亘り速刻砲撃を中止す可き命令を發したり、獨露全權委員次回の會合は來る日曜日（十二月二日）を以て行はる可し（路透電報）

過激派タ市掌握

過激派は四日間に亘る戰鬪の後亞細亞露西亞タシケントを掌握せる旨發表せり（路透電報）

衣服徴發を決議

ペトログラード市會は臨民委員會政府の壓迫を受け決議して曰く家毎一着以上の衣服を有するの家は一戸毎に暖衣一枚を徴發して軍人の使用に充つ可し（路透電報）

反命官吏を罷免す

過激派政府は外務次官及び官吏三十名が過激派の命に服せざりし故を以て之れを罷免し恩給を與へず（路透電報）

巴里會議の一目的

聯合國間の團結を一層鞏固に

最も緊要なる聯合國巴里會議は米國及び暹羅を含む十四箇國の間に更に有効なる團結及び協力を實現せんとす此の會議に於て露國は駐佛代理大使を參列せしむと（巴里電報）

英石炭輸出制限

十二月七日以後英國より海外諸國への石炭輸出は政府の特別許可を要する事となれり（倫敦電報）

獨墺軍攻撃猛烈

獨墺軍は引續きヴエチア平原を大兵力を以て突破せんとし常に最善の新鋭部隊、銃砲隊、且猛烈瓦斯彈を使用し其攻撃は回を重ぬるに連れて猛烈を加ふれども伊軍は頑強に抵抗しつゝあり獨墺軍の攻撃法はヴエルダン戰に彷彿たるものあり（羅馬電報）

▲獨軍はヴエチア平原を突破せん爲め更に新手の兵を此方面に集中し攻撃一層激烈となり來れり（羅馬電報）

フォンテーン激戰

二十七日朝フォンテーン附近にて猛烈なる戰鬪行はれたり。獨軍は新手の兵二個師團を以て逆襲し來り英軍は同地方の一部を拋棄せざるを得ざりき（倫敦電報）

ヒンデンブルグ隧道の設備

英軍司令部附路透通信員は有名なるヒンデンブルグ隧道を英軍占領後に視察せる有樣を記して曰く『同隧道は長さ十三哩幅四千呎に亘り露軍俘虜を使役して開鑿せるものにて内部に夥しき地雷を敷設せり其の諸所に小室ありて食糧品飲料煙草等を貯藏し居れり英軍は今や之等を掘出し居れり（倫敦電報）

社會黨講和運動

十一月二十五日ブダペストにて社會黨の大々的講和示威運動行はれ『戰爭を止めよ』『我等は一般的同盟罷業を要求す』と絶叫しストックホルムに萬國勞働黨會議を開催せん事を提唱する決議案を可決したり（倫敦電報）

故增田氏葬儀

元鐵道院技監鐵道院技師工學博士增田禮作氏は二十七日逝去せるが三十日午後一時青山にて葬儀を營めり（東京特電）

樺山滿鐵理事

樺山滿鐵理事及び會計課長ザーリン氏は社用を帶びて三十日朝北京へ向ひたるが歸奉は二十九日の筈なり（奉天特電）

機關銃隊新設

機關銃隊は十二月一日より某々師團の步兵聯隊に一個宛新設せらる可しと（大阪特電）

鮮師團新兵

渡鮮

朝鮮第十九師團に入營す可き兵士八百十名は卅日午後一時天草丸にて門司を發し釜山へ向へり（門司特電）

都督府 銀建廢止

一日より實施す

三十日附關東都督府令第三十五號を以て明治四十年五月府令第三十三號關東都督府ノ庫入務省ニ於テ受入ルル銀貨ノ用フル場合ハ別ニ定ム…

新設會社資本

十月中朝鮮に於て設立許可を得たる會社は合名會社一、資本金三萬圓、合資會社一、資本金二百萬圓合計二百三萬圓、株式會社なるが右の内株式會社は從來內地に本店を有し朝鮮に支店を設けたるを今回廢止して朝鮮に會社を設立するの手續を爲したるもの他の二會社は一個人の營業を合名又は合資組織に變更したるものなれば同月中新設資本として計上さるゝは其額安當ならざるが如きも本年に入りて設立を許可されたる十月末現在會社數は合名會社四、資本金百四萬五千圓、合資會社十、資本金三十四萬五千圓、株式會社二十一、資本金二千二百三十一萬圓、合計二千三百七十萬圓にして之れを主なるものとす朝鮮製粉、朝鮮紡績の各五百萬圓、硬質陶器の各百萬圓、鈴木商店支店の五十萬圓、十一萬圓…

京畿金融現況

京畿道管內には目下水原地方金融組合以下二十四箇の金融組合を有し而して現下の組合員數は九千八百七十六人にして之を前年同期に對比すれば千九百九十三人を增加せるが今十月末現況を聞くに如左

▲資産の部 拂込出資金七萬九千六百八十四圓九十七錢貸付金六十萬六千八百七十六圓… 土地建物其他所有物… 什器…

▲負債の部 出資金十萬八千…

旅團司令部

龍山

大邱步兵第四十旅團司令部は龍山へ移轉の事となり三十日午後八時五十分龍山驛着列車にて金久保旅團長以下部員全部入京せるが…

高瀨東拓理事消息

高瀨東拓理事は…

高子爵退京

昌德宮內殿炎上の後李王世子に御見舞言上の爲め李王世子附の事務官高義敬子は一日午前八時四十分南大門發列車にて歸東の途に就くべしと

和田總務課長歸任

清會線開通式に參列後引續き咸鏡南道地方視察中なりし和田臨時土地調査局總務課長は三十日午後九時十分南大門驛着歸任せり

的野前代議士

福岡縣の前代議士的野半助翁は豫て病臥中の處遂に藥石效なく十一月二十九日午前逝去したり翁は刺客來島恒喜と共に夙に玄洋社に學びたる…

人事消息

▲…

百鬼百種

▲骨董の寶立は…

王士珍內閣使命

王士珍氏は…南北の妥協を策し永く抗爭の弊を芟除するに在り內閣成立後正式に交渉開始せらるべし（北京電報）

南方調停會開期

南方調停會は十二月二日より南京に開かる可く各省代表は三十日南京に着く可し

漢口商業會警戒

漢口の商業會は政局の形勢に對し警戒を始め武昌に於ける綿花及び綿紗を居留地倉庫に積込みたり（漢口電報）

清會線行（5）

▽有封にいつた羅南

別府生

▲羅南で鏡城に志す新聞記者六名、それに日本事務官、村落通逝員等は豪華な一列を連ねて廿三日の午前九時清津を出發する、清津より羅南までの四里は輸城平野の海岸部を走り、稍めて平坦である、トロの走行には倉車にも注意してゐたらしく、近日三回程運繰に停まつて、先力から來る貨物臺車の通過を待つた外、唯風を切つて急いだ丈け、面に触れる冷氣は可なり強かつた、日を利き合つても大半臺車の轍に消される事もあるが、お互ひに押し過ぎは…

▲僞り臺車の落ち方が早いため、吾々は一時間二十分で羅南の市街に入つたが、普通清羅間は二時間で走つてゐた、一時間程の遲れを吾々の臺車は羅南の騎兵隊聯隊の前を走つて…

▲今後の羅南は…

石井氏歸朝談

▲米國の誠意 一行に對する…容易なりき狡猾詭詐の手段を弄する…て之れが爲めに諸般の交渉も甚だ…共同宣言を…ることを得たるが如き此點は切に諒恕を乞ふ尤も今次商…現角の不安と不満の念を懐き居れ…

▲參戰後の米國 戰爭參加…見誤りたり要には英國の實力を誤…

入札拂下 京畿道 一、京畿道廣州郡中部面山城里所在官有建物九棟 一、京畿道振威郡芙蓉面客舍里所在官有建物 右公賣ス詳細ハ拾貳月壹日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ 大正六年拾壹月參拾日 京畿道

警務總監部 一建物朝鮮式平家貳棟 外附屬物三棟 右賣却ス詳細ハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ヨ 大正六年十二月一日 警務總監部

公債債券月賦販賣業務 外交員募集 代理店 希望者は履歴書及寫眞相添へ至急申込まるべし 東京市日本橋區上槇町 丁巳勸業合資會社 社長 松本章彦

五絃教授 私事今般橘流琵琶前田旭翠師範の免狀を附與せられ候に就ては御希望者に對し資格以上の教授可致右謹告候也 法緣山旭村はま子 京城南山町一丁目

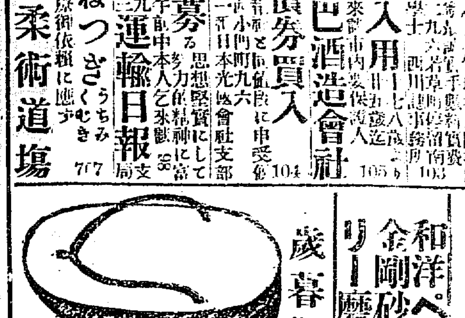
陸軍拂下 官衙に諸拂下品 皮靴、袴、下手袋、被服一切 京城府漢江通 佐藤古着店

京日案內 普通一回前金… 番外…

古本高價買受 明治町通 野村書店

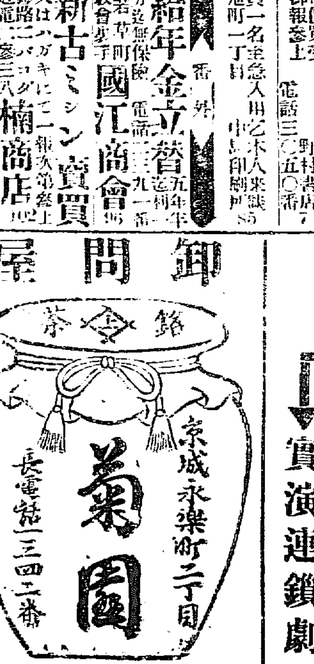
恩給年金立替 新古ミシン賣買 國江商會 訴訟債權 楠商店 店員入用 三巴酒造會社 勸業債券買入 社員を募る 運輸日報 ○はねつぎ 柔術道場 明治町

歲暮御禮として 十二月一日より卅一日迄 正札一割引 京城郵便局前（旭町一丁目入口） 勉强屋 電話四四四番



御問屋 京城永樂町二丁目 菊園 長電話一三四二番 井上藤兵衛 振替京城三六六九番（御申越次第直段表送呈）

和洋ペーパー 金剛砂エメリー磨諸原料 卸 向井商店 大阪西區市岡町八五ノ十 振替大阪三六五五七番



電話二〇五番 二五九七番 有樂館 連續大寫眞と ▲舊派實說 德川天一坊（全四卷） ▲連續活劇 第二「獸魂」（第三編第四編） ▲新派連鎖 一村雨（百五十場） 實演連鎖劇の

金張眼鏡 米國製 新荷着 中村眼鏡店 京城本町一丁目

高等製靴 營業課目 皮革直輸入 製靴製甲卸 インマリン持製靴クリーム 子供附屬品靴販賣 各種修繕廉價 共進會品評會 賞牌受領 京城南大門通一丁目 渡部製靴卸部 京城本町二丁目 渡部本町販賣部 電話二八一四番 水原南大門外 渡部水原出張店

……ランシング氏の如きが常に誠意……好感とを以て一行を迎へられたるは我輩の感謝に堪へざる處にし……今日の外交は全く誠意を以て事に當れば足る今次日米兩國政府が充分なる理解の下に……

▲協商の効果　米國政府との間に試みたる諸般の交渉の始末に關しては何物をも贈る能はざれば互に益々親交を深くし得ん但だ支那人の一部が日米共同宣言に對し……の如くなれば……可く何れにするも支那國民たるもの須らく意を安くして可なり……有様は實に目覺しくも……やに關しては何等……も日米兩國は經濟的にも今後益々……

除隊に至るまで

㈣親しい同志相寄て　別盃を擧げる心許りの宴會

お互ひに同じ釜の飯を食た仲だ‖飲み給へ大いに飲め‖記念の盃‖別れ惜に泣く醉‖出たら是非訪れて來て呉れ‖忘れられぬ印象

十一月の中旬馬山鎭海地方へ慌ただしい旅をしたときのことである一時間半ばかり前に鎭海を出た我々の[illegible]ンチで六時頃馬山の埠頭に著いた記者は[illegible]きうに頭から膝掛けを被つて[illegible]踏み足で迎へに出てゐた車夫に手荷物を渡すとそのまゝ車上に外套の襟を立てゝ頸筋に

▽冷めたく沁み込む夕方の汐風を防ぎながら海岸通りの吉川旅館に入つた、そして三階の一室に案内されてゆくと隣りの室では四五人の客が酒盛りでもしてゐると見ゑて華かな笑ひ聲に交つて喇叭節だのデカンショ節だの近頃流行るミスの名前を讀み込んだ磯節だのさては異な端唄だの無秩序な節音が絶え間なく襖一つ隔てた私の部屋に傳はつて來た、私は見物のために朝から海上を往復したり車で驅け歩いたりして可なり疲勞してゐた記者の神經はこの騷ぎに對して無關心で居られるだけの餘裕を持たなかつたので女中を呼んで部屋を取替て呉れないかといふと女中は『兵隊さんが

▽お友達同志でお別れにお酒を召上つてゐるのですから直きに終みますけれども……』と言ひながら私のトランクをその次ぎの室に運んで呉れた、宿屋の主人のために志賀重昂氏が『嶺南形勝第一樓』と肩書りの健筆を揮つた額の懸つてゐる十疊の座敷の窓近く坐り込んで、まだ宵の内であるのに深い眠りに落ちたやうに靜かなそして人の通る物音一つない淋しい馬山の市街を眺めてゐる内に記者の心もちは少し落ちついて來た、女中の所謂兵隊さんの騷ぎも休息はしないが這入つて來たとき程ではなくなつた、その代りに

▽今度は大分醉が廻つて來たこと見ゑて取止めもない言葉が交換されるようになつた、聞くともなしにそれを聞いてゐると『貴樣と俺とは三年間同じ釜の飯を食つた仲だお互ひに兵營生活を續けた間だ、そして同じ隊の中でも特別に親密に交際つてきた間柄だぞ、今度別れたらいつ會へるか判らんぢやないか今夜は飲め大いに飲め』と中の一人が言ふ『然うだ本當に然うだ、俺は今夜皆が寄つて此處で別れを設て突したといふ記念にこの盃を皆のため一つ飲強つて貰はう』と言ひ出した者があつた『[illegible]軍曹あんた

▽隊を出たら是非俺の所へ寄て呉れ、若し來て呉れなんだら一生怨むぞ』と云ふ者があつた、『オイ〳〵××君の心持はよく解つた、俺は[illegible]眩度君の家を訪ねる、[illegible]らいつて呉れるのが何より嬉れし[illegible]い、ア、嬉しい』と聲を立てゝ泣くらしい者もあつた『隊に居る内は隨分氣に入らんことも言つたら[illegible]呉れ、いゝか』と腹の中から絞り出すような聲を出す者もあつた、低い感傷的な言葉が容りに換されて一座は恐ろしく埋に落ちたやうだつた、これを引立せようとして

▽滑稽な戯唄を唄ふ者もあつたが直ぐ赤元の哀傷的な寂しさに返つて行つた、記者は話の前後から推して重砲兵大隊の満期兵だなと思つた、しかもこの時はこの人たちの偽らない心持から出た言葉を普通の醉どれが吐き出す無責任な言葉とは思へないほどその話に吊り込まれてゐた、そしてその純な心もちを美しいことだと思ふ念さへ起つた、この除隊は深く記者の頭を刻んで記憶を殘した――所は變るけれども、龍山聯隊が除隊となつて內地に歸つてゆく者の多いこの頃、圖らずも馬山の旅館の二階のことを憶ひ出して除隊當時の模樣を知るべく某中隊を訪ねて見た（つゞく）

虎狩隊畫報

‖獲物を前に得意滿面の山本氏（向つて右）と砲手崔順元（左）

◎御眞影を捧持して　四十旅團司令部愈々移る

…龍山は今後一層賑やかに…金久保將軍は語つた…

大邱の歩兵第四十旅團司令部は龍山に移駐する事となり二十日午後八時五十分龍山驛著列車にて旅團長少將金久保萬吉氏は司令部に奉安すべき御眞影を捧持し高級副官人見少佐以下の部員を隨へ何れも家族同伴入京した、途中まで出迎へた記者に對し

▽金久保少將は語る『軍司令部直轄歩兵第四十旅團の第七十九聯隊（大田）と第八十聯隊（大邱）は南鮮各道十八箇所に分散駐剳してゐたので第一軍隊教育上其他色々の方面に於て不利と不便が少くなかつた、今回大田の聯隊を龍山の新兵營に移すと同時に

▽各道分駐の守備隊は全部龍山並に大邱大田の三箇所に纏めて終ふ事となつた、而して龍山[illegible]隊の引揚げは可なり其の土地の[illegible]

▽市況に影響を與ふる所もあり、一面より見れば氣の毒だが止むを得ぬ譯だ、龍山は今後二個聯隊の駐屯となり一層賑やかになるだらう、尚ほ旅團司令部では別に移住ふ等はやらぬ』將軍の右腕と[illegible]部に勤二等の略章と陸軍大學出身の徽章が光る、龍山に著くなり將校百餘名並に夫人達の出迎へが波を打つた

◎國技館出火の原因は火鉢から　春場所は偕行社で興行

國技館の出火は賣店のボーイ島村勝吉（二）が火鉢の火を粗末にしたるより起りたるものにて來る一月場所は多分九段偕行社前の土俵を借りて開催の事となる可し（東京特電）

◎高松　市長不信任　議員の總辭職

香川縣高松市にては市長藤本充安氏に對し不信任を決議せしにも拘らず未だ留職し居れるより市會議員は不明を市民に謝すとて總辭職せり（大阪特電）

□北漢山（石田畫伯作品の一部）

◎征虎隊の獐狩

二十九日一行は果徳山附近の獐を狩るべく早朝宿營地を出發せり山中には積雪多く九州記者團先づ火蓋を切り瞬く間に獐四頭山羊二頭を獲す山本隊長以下記者數名は[illegible]を究めたり三十日は狩場發北靑に一泊し十二月一日京城に向け出發の豫定なり（北靑特電）

◎石田高造氏の個人展覽會開催

（一日二日南山町京城ホテルに於て午前九時より）

本社編輯部員にして新進洋畫家たる石田高造氏は飯塚、高野、松永、松尾、阿部、城、陶山、鈴木（穆）諸氏の贊助により既報の如く一日二日の兩日午前九時より午後五時まで京城ホテルに於いて個人展覽會を開催することゝなれるが、その作品は全部を通じて三十餘點にして主に京城附近の風景を寫生せるもの多く各點を通じて生氣潑剌たるものあり、殊に今回の作品は同氏[illegible]

◎高等普通學校　マラソン競走

京城高等普通學校にては三十日午前十一時より生徒六百二十名の大マラソン競走を行ひたるが一同は定刻龍山練兵場を出發し電車の終點まで到り漢江通に出で龍山總督官邸前坂道を上り練兵場裏を經て出發地點に歸著するものにて此の行程一里二十四町にして第一著（徐延旭）は二十六分三十五秒、第二著（趙建漢）はそれより五秒後れの二十六分四十秒、第三著[illegible]も亦同[illegible]、最後の六百二十番は四十五秒[illegible]四十四分間にて[illegible]第五番目に[illegible]たるは[illegible]と云へる十四歳の少年にて此の中には昂年長者二十四五歳の壯丁もあるに拘らず少年が五番目の優勝者たりしは頗る[illegible]

◎燒けた神戸局　損害二百萬圓

前報神戸郵便局の火災は三十日午前七時に至り鎭火せるが當直は北川修治にして損害二百萬圓なり（神戸電報）

◎引越季節　日本建から温突へ

▲—是からの貸家は斯うせねば—▲

身を切るやうな鋭風がヒユー〳〵と吹き捲くつて、白いものがチラ〳〵するやうになると熱々温突は好いなと思ふ、實際零下十何度、火も亦凍らんとする朝鮮の冬は開放的な日本建に取つて非常な勁敵である、壁の隙間から、疊の合せ目から

◇酷烈な寒氣が沁々と襲うて來る、暖爐でも焚けば兎も角として左もない限りは迚も凌げたものではない、だから今迄日本建に居たものも多くが近くなると多く温突へ温突へと引越す、結氷期を眼前に控へた昨今は恰度その引越し季節とも云ふべく、少しでも氣のきいたと思ふ者は大抵今の中に冬籠りの用意をする、或

◇建築通の話によると、京城の日本建ては多く過渡時代の建築で、時勢の要求に驅られて俄かに普請した所謂間に合せ物が大部分を占めて居る、元來京城は結氷期になると地下三尺も凍結して了ひ地面が

◇腫れ物のやうに浮き上る爲め斯んな間に合せ物は忽ち參つて了ふ、戸障子が動かなくなつたり、壁と柱の間に間隙を生じたりするのは畢竟が爲めで、費用を惜しまず建てた一流の官舍や洋館に至つては堅固なものである、過渡時代の建物が

◇粗雜な事は前に言つた通りであるが、此頃出來る建物にも亦碌なものはない——尤も多少の例外はあるが——何しろ建築材料や工賃が從前に比してお話にならぬ程昂貴して居るから自然粗雜に流れる譯である、だから家賃の割合に抑々

◇理想に適つた家がない、借り手が少ないから借り手がなければ折角建てた家も貸家の持ち腐れ同然、何時までも『貸家札』を貼めて貼つて置かねばならぬやうな事になる、是れから貸家でも建てやうと云ふ者は無論、現に持つて居る人でも其貸家に

◇温突の一個位は建て增す必要があらう、是は社會多數の要求に應ずる最も恰悧な手段だと云ふ事である

◎朝鮮の三寒四温　五風十雨の話（三）

京城測候所長　高島義正氏談

[illegible]行く樣に[illegible]は時に迅速がある、其速度は時に[illegible]から一日には迚も[illegible]一時間に十五里内外も速い、例へば東海道線の最急行列車よりも少し速い、[illegible]大連[illegible]は京仁地方に來り夕刻には[illegible]

▽水の渦の流れ[illegible]

▽極めて徐行することがあり一時間一里位しか動かぬことがあり、時には數時間停滯してゐる事もある、低氣壓の內では天氣の模樣が所々で違ふ、先づ其進路の前面で、然かも中心から遠い所では高空に卷雲（シラス）や卷層雲（シロストラタス）が見ゑ、中心に接近するに連れて下の方では雲が濃密となり

▽雨雪の降る所が多い、たとへ後面でも中心の近くでは雨や雪も降り濃雲もあるが中心より餘程離れると青空が見ゑる、之を一口に言ふと自分の居る地へ低氣壓が近づくと天氣が惡るくなり通り過ぎれば天氣が恢復する、低氣壓の來去に連れて自分の居る地では風の移り方は直に判る

▽乃ち低氣壓が北の方を西から東へ動いて行つた其地の東、南東、南西と云ふ順に變つて來るとすれば其地では風は北東、東南、南西と云ふ順に移つて來る之を『順轉』と云ひ時計の針の廻る順に轉ずる、若し又低氣壓が其地の南を通つたとすると、風は東北、北東、北、北西と云ふ順で、所謂『逆轉』をする又低氣壓が其地を通る時は南東風が吹續きて中心の經過すると同時に

▽忽然北西風に變る、だから風向の變轉に注意すれば低氣壓が自分の居る地の、どの方角を通つたか又通つゝあるかゞ判る

◎京畿道管內面事務所位置變更　京畿道管內加平郡下面事務所は從來の所在地下面新下里より下面縣里に位置變更の件認可ありたり

◎仁川消防秋季點檢　仁川消防隊に於ては秋季[illegible]一日午後一時より東公園廣場に於て[illegible]

課題　▼和歌『寄驛鈴』▼俳句『初東風』▼川柳『言』

制限　一人に付一題一首又は二句、但し一人にて幾題投稿するも可（用紙）葉書又は同型のもの

締切　[illegible]三十一日（但し本社代[illegible]部の相當寄稿者期至）

せきすい

病には効能正しき良藥あり困難の方は往復端書にて御照會あれ詳報す　播磨國明石郡細江町　高砂屋商店

內科、眼科、小兒科　本田醫院　京城黃金町二丁目　電話二四四三番　振替京城三二二八番　院長　本田[illegible]

京城肛門療院　痔核。痔瘻。脫肛。痔出血。直腸脫。裂痔。　本田醫院附屬　肛門病の説明書入用の方は郵券十二錢を要す

◎移轉廣告　今般長谷川町七十五番地より南方通に移轉致し從來の通り診察に從事致候　電話七五　松岡醫院　松岡信七

複方ヨードカリウム丸

淋疾內用　ゴノレヤー　痛い苦しい淋疾[illegible]強度の殺菌力を有する藥劑の配合にして[illegible]　▲定價一週分金五十錢[illegible]　龍山（日）林藥房

代理店　京城本町一丁目　合資會社　山岸天佑堂
代理店　釜山辨天町　大黑南海堂
代理店　平壤大和町　森田草樂堂

（懸賞應募有効保證）　KAZEPIRIN　解熱　風邪　大學病院模範方劑　本舖　淺野錦天堂藥局

支拂通知　今般廢業可致候に就ては支拂の儀は全部來る拾貳月七日（午前十一時より午後五時迄）に可仕此段御通知申上候　十二月一日　喜久家

粹島開店御披露と粹島デー

弊店儀發賣以來各位の御愛顧を辱ふし日に增し破竹の勢を以て不相變至る處好評を博しつゝ有之候處販賣擴張の爲今回當地に出張店開設致候間何卒御引立の程奉懇願候

就ては左の方法に依り有樂館活動寫眞無料入場と共に趣味ある餘興數種御覽に供し可申候に就き早く御來館相願候　敬具

一、粹島二個御買上の方には活動寫眞無料入場券一枚進呈
一、開演期は十二月三日
一、場所　京城本町　有樂館
一、席の區別なしお早い者勝ち　その外先客二百名限り福引券進呈
一、餘興として場內に於て粹島ハーマ撒布す

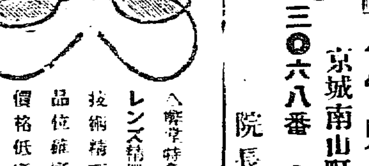
京城本町二丁目一八　專賣元　粹島出張店　釜山長手通り　特約店　中野健商店

京城　◎久枝肛門病專門病院　◎入院隨意　京城明治町二丁目三十二番地（電話二一〇二番）元朝鮮實業會社跡　院長　久枝秀喜

◎痔疾專門◎　曰いぼぢ曰だつこう曰じらう曰はりぢ曰さけぢ曰かゆぢ曰ねけぢ曰こうもん（結核、梅毒、淋毒）曰こうもんきようさく曰痔疾神經衰弱

昨秋來京城長谷川町安東病院に於て痔疾患者之診察に從事本年四月以來滿洲漫遊引續東上中之處患者各位の懇望に依り再び左記之處に於て診療に從事可仕候

眼鏡專門



◇營業特色　レンズ精撰　技術精巧　品位確實　價格低廉　親切勉强
宮川大學堂　京城南大門通一丁目二二番地　電話二九五九番　振替京城一五九番（眼鏡製造丁場子弟入用）

開院　△外科一般　△花柳病　△內科　△婦人科　△小兒科　入院隨意
京城南山町二ノ六（元松岡醫院跡）　電話三〇六八番　院長　宮崎道碩　宮崎醫院

櫻御殿

第八十二回 大阪 霞の家主人

秋の潮（四）

『その御返答、何うござる』
彦丸は催促する釆女は暫くして
『勿論でござり申すわ』と云つたが、その語尾は消るやうであつた
『兄弟が同じ心をもつて、御館へ仕へ参らす、此の儀、御遺存ござるまい』
彦丸はまた念を押した
『違存ござらぬ』
釆女は同じやうに挨拶したが、心から出た言では無かつた
『お身も孤兒、わしも孤兒、孤兒と孤兒とが、義に由つて契約、御館に一命を参らする、但へ、御同じ日には生れずとも、同じ土地には生れずとも、同じ時に死に、同じ御恩の下に生きる、此に越した幸福はござるまい、明日にも手前方へお越し下さらば、弓矢八幡の御前に於て、生死を誓ひ申すでござらう、御同意か』
釆女はそれにも辭退する餘地無くて、委細承知の旨を答へた
『お手前も明日は非番か』
『御意ぢや』
『手前も非番、さらば正巳刻、席を拂つて相待ち申す』
『必ず参る、さらば』
釆女は鉾の廊を避けるやうにして立ち上つた、彦丸は廊下まで見送つて
『氣を付けて参られ、氣の冷をお厭ひめされ』と親切に心付けた
釆女は村平（嘉市の變名）を供につれて、城門を家に急ぐ、お召出しには與つたが、まだ家屋敷は下されない、助左衛門の家の厄介になつてそこから出勤するのである
途中でさま／＼考へる
『彦丸は侍從殿を三世の主と頼んで居る、然し、わしは何う行かない、わしも主君は他にある、姓名を變へ、身分を詐はつて、當節の家來に入り込んだは、一念たゞ父の仇が討ちたいためである、それに彦丸と兄弟の契約、是は心から信義を守る意志なれど堕ちるに及ばぬ、されど弓矢八幡の前に於て、[illegible]へ忠義を誓ひ盟約するのは心に恥ずる、さうこそ彦丸の志を無にするも本意でない、はて何とせう、何として此の難關を脱けて呉れやう
村平は釆女の態度が平生に變つて、何處やら沈んで見ゆるので
『和子様、何う遊ばしたのでござります、甚うお顔の色がお惡いではござりませんか』と心配さうに問いた
『實は少し苦勞があるのぢや』
『何うした御苦勞でござります、村平に儕せなされませ』
釆女は彦丸に云はれた事、また彦丸に約束した事、明日の巳刻には彼の屋敷を訪問せねばならぬ事を語つて聞かせて
『實は途方にくれて居る、何としたものであらうの』
村平もこれには困つて
『こりや一大事でござりまするな』
『彦丸の眞情を無にはならぬ、さりとて弓矢神を欺むくことは尚悔られ、何として免れうかぞ、夫を考へて居る處ぢや』
『然し、和子様、大功は細瑾を顧みずと申します、弓矢八幡へはわたしがお詫び致します、大敵をお討ち遊ばすには、少々ぐらゐ權道をお用ゐにならねばならぬ時もござりませう、彦丸殿のお邸へお越しなされませ、さうして美事に血判して、他事のないさまをお見せなさいませ、彦丸殿も歡び、氣を免さすのも、王爾の中でござります』
『然し、お怨しはあらうか』
『何事も御孝行、お怨しは知れて居ります、彦丸殿の云はれる通り血判を爲されませ』
『さらば參らする、神々へ詫を賴むぞ』
云ふ中に、助左衛門の家へ歸つた

京城本町 千代田號印舖 電話九八七番 振替口座九八七番

日報俳壇

秋季雜詠（七）

庭に移す溶の荷葛や雁渡る　待宵
月に光る貝殻畑や雁の聲　同
温泉の宿旗風に雁鳴く夜哉　同
埋地廣う遠鳴る海や雁渡る　同
崖を碎く棚硝仕掛け雁渡る　同
陶工の下稽古したる紅葉哉　同
四山中の紅葉する丘の温泉哉　同
柳散る河岸の二階や灯連　同
稻荷詣る河沿ひ道や柳散る　同
宿醉して踊る驛や雁夕べ　同
蓑焚けば温る下地や去ぬ燕　同
女主の紡げる唄や秋の花　秀郎
四社塗る朱の鮮かさ鳥渡る　同
河橋の朝雨晴れて花火哉　同
鯊釣や船を燒き居る夕煙　同
河霧や鹽運ぶ擔軍の高話　同
鷄頭や善き事に軒並ぶ門　同

榾の火吟社詠草 ——同人六集——

[illegible]

昭活巴句例會

（十一月十三日調信倶楽部にて）

○時雨

[illegible]

○櫓

[illegible]

新刊紹介

▲一姫二姫三太郎（[illegible]） 著者は嘗て少年世界の主筆たる兒童物語といふ、著者は[illegible]

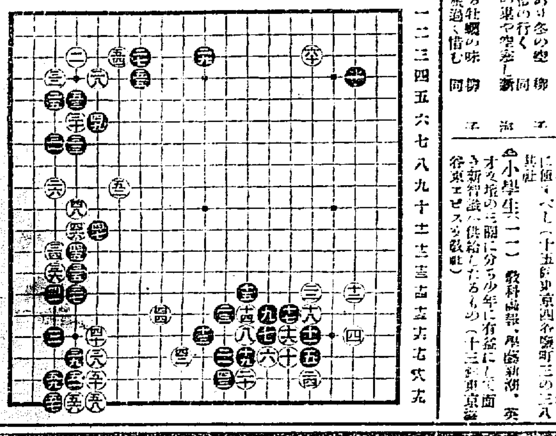
▲週（二の八） 淨柳散太郎氏[illegible]

▲時事評論 二の一二 [illegible]

▲小學生（一二） 教科畫報、學齡新潮、英才教育[illegible]

圍碁手合（三）

五段 高部道平氏
先 三段 山平帝氏



京都 桃谷研究試驗所製

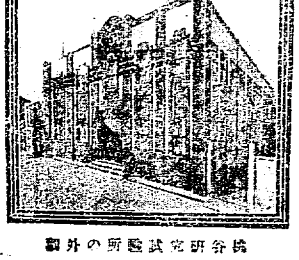
佛蘭西式純白

美顔洗粉

◆御内意に依り謹製したる品

大正四年五月上旬、或る貴賓の御係から、佛蘭西製の或る洗粉とクリームとの見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製奉進せよとの有難き御内意が傳へられました。當試驗所にては此上なき光榮に感激し、技師一同飽くまで深重に綿密に研究を積み、同七月下旬を以て創製品を上納致しました處、二品とも品質の極て優秀なる事を認めされ、爾來常に御用を拜して居りました其二品の中の洗粉を先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此美顔洗粉であります。斯ういふ品ですから、一度美顔洗粉を御用ひになりました方は、必ず其品質効用に御滿足遊ばされ、引續き愛用せらるる有樣であります。貴族上流方御家庭からの直接御注文も近來非常に多なりました

美顔洗粉定價小袋八錢中袋十六錢大袋二十四錢
發賣元桃谷順天館 全國化粧品小間物店にあり



桃谷研究試驗所の外觀

イケダ小兒病内科醫院

池田醫院
京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院）一三三四 （自宅）八八〇

醇良無双清酒 無害衞生品質無双

醸造元 靜岡縣島城町 首藤合名會社
發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番
釜山幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

朝鮮高麗人蔘直取引商
京城本町一丁目（郵便局前）
人蔘本舖 津村兄弟商會
支店 津村商會支店 龍山 大阪[illegible]
[illegible]

内用精効能
○胃腸病○神經衰弱○結核症○肺病○老衰○僂麻質斯○痳病○痔疾○腸病○婦人病一切○營養不良より起る諸病其他諸病後衰弱に對する滋養強壯劑

外用精効能
○神經痛○火傷○切傷○腫物○蚤に螫れた時○筋の張る時

御買入れの時機に候

黒羽二重紋附地
羽二重大市羽折縮緬
千台平袴地
久米名仙縞
流行久米紬
金巾更紗
實用絹綿類
[illegible]
京城日報社代理部

朝鮮銀行

常銀行ハ預金、為替、其他一般銀行業務ヲ取扱フ
本店 京城南大門通 電話 [illegible]
支店 出張所 [illegible]

百圓呈進

りん病 ばい毒

帝國醫科大學病院[illegible]
にせ物に注意あり
大阪有田
京城南大門外停留場前 ドラッグ商會
他の藥店に販賣不許

大阪 ドラッグ 外門大南 場留停

胃つぎの治療
京城荒川[illegible]

牛乳
ニッソ
東亞牧場 京城竹添町四丁目 電話二五〇番

開自動車著發時刻

[illegible]
山下自動車部 金泉支部

大阪商船仁川出帆

(※外國航路)[illegible]
×濟州行 濟州丸 十一月日 午後五時
○大連、神戸、大阪行 [illegible]
[illegible]
△南浦行 [illegible]
仁川支店 [illegible]

日本郵船仁川出帆

○大連、芝罘、太沽（天津）行
和歌浦丸 十二月一日
高砂丸 十二月十一日
三河丸 十二月廿一日 正午出帆
仁川 [illegible] 回漕部

尼崎汽船仁川出帆

新[illegible]丸 十二月[illegible]日 午後四時出帆
大吉丸 十二月[illegible]日 午後四時出帆
神代丸 十二月[illegible]日 午後四時出帆
君代丸 十二月[illegible]日 午後四時出帆
仁川 高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

共同丸 十二月[illegible]日午後[illegible]時出帆
仁川代理店 野口商會

釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 [illegible] 午後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 [illegible] 午後十時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 [illegible]
天長丸 [illegible]
釜山 大池回漕部

朝鮮郵船出帆

○關門より釜山各地經由浦汐行
×三浦丸 十二月四日
×成鏡丸 十二月十五日
忠清丸 十二月二十日 釜山發
○元山より北鮮各地經由浦汐行
德城丸 十二月一日
三浦丸 十二月五日
忠清丸 十二月三日
三艘城丸 十二月十七日 元山發
○浦項行 平安丸 十二月一日 元山發
○京畿丸 十二月十五日 元山發
○元山より沿岸釜山經由關門行 第二高運丸 十二月二日 元山發
○鬱陵島行 咸德丸 十二月二日 釜山發
○浦項行 江陵丸 毎日 釜山發
○濟州島行 昌平丸 十二月六日 釜山發
○釜山、麗水、統營丸 毎日 釜山發
○濟州島行 公州丸 十二月五日 木浦發
○木浦 大興丸 三日目毎 木浦發
○仁川 慶興丸 十二月三日 木浦發
○仁川 晉州丸 十二月七日 仁川發
○仁川 宗信丸 十二月四日 仁川發
○海州行 全州丸 南陽丸 毎日 仁川發
○青島行 江原丸 十二月七日 仁川發
本社 京城 電話[illegible]
釜山支店 元山出張所 仁川代理店 木浦代理店